

### 第3回 屋島会議

#### 参 考 資 料

1 第2回屋島会議における主たる意見等・・・ 1

2 市民意識調査結果・・・・・・・・・・・・ 3

3 来訪者実態調査結果・・・・・・・・・・・・ 17

## 1 第2回屋島会議における主たる意見等

平成23年10月25日(火)に開催した第2回屋島会議における委員の主たる意見等は、以下のとおりである。

### (1) 屋島の位置づけについて

1) 位置づけとして5項目を掲げているが、以下の3項目程度に整理してはどうか。

ア) 自然環境資源の宝庫

- ・地形の美しさと頂上から見える瀬戸内海の多島美。
- ・地形・植物・昆虫類等の固有性による特異性により国立公園・天然記念物の指定を受けている。

イ) 歴史・文化・信仰の山

- ・古くから海上交通の要所として数多くの歴史的遺産を有する。
- ・源平の古戦場である。
- ・屋島寺は四国霊場の札所であり、多くのお遍路さんが訪れ、古くより受け継がれ今日に至る物語がある。

ウ) 市民の生活・学習・レクリエーションの場

- ・陸上競技場・ハイキングコース・少年自然の家・水族館等があり、住民・市民に親しまれている。

2) 現在事務局が指摘している以外の位置付けもあると思う。市民がどのような感覚や想いで屋島を見ているか意識調査で把握して欲しい。

3) 現状の屋島で認知され、活用されている位置付けは、「信仰の山 屋島」だと思う。

4) 各委員より具体的な意見が出され、それを取捨選択し、肉付けを進める作業の中で位置付けが整理できると思う。

5) 本当に高松市のシンボルになっているのか。これからシンボルにする努力が必要ではないのか。

6) 屋島の素晴らしさ(瀬戸内海・高松市街地から見た屋島、屋島山上からの瀬戸内海の景色)が市民のシンボルだと思う。

7) 現在の屋島の集客の1/3を担っている新屋島水族館や屋島寺、ハイキングコースなど既存施設の価値・機能をきちんと位置付けるべきだと思う。

8) 今後、屋島への来訪者数の増加を目指す観点から言えば、地元や国内ばかりではなく、海外からの来訪者に、屋島がどのように評価されているかを把握することも必要ではないか。

### (2) 視点ごとの分析について

1) 協議用資料に視点として挙げられているのは「もの」だけであるが、「人」「金」「情報」すべての視点で分析が必要だと思う。「人」とは、現在活動している組織や事業、「金」とは、行政的事業や民間団体における事業内容や予算規模。「情報」とは、屋島の情報発信として活用されている情報インフラや内容などである。

### <自然環境・景観について>

2) 西町側の建物に景観規制がなされていないため、屋島の姿の美的価値が損なわれていると思う。

### <文化財について>

3) 「文化財」という言葉は、範囲が限定されるようなイメージがある。「歴史・文化・信仰」という視点からの分析が良いのではないか。

4) 源平古戦場に関する観光的要素が薄いということも付け加えるべきだと思う。

5) お遍路さんに対するPRや接待意欲が希薄なような気がする。

6) 屋嶋城跡等を活かした歴史とロマンの喚起が不足しているように思う。

7) まず、長崎鼻古墳、千間堂跡、屋嶋城跡等これまでに蓄積された、埋蔵文化財情報を繋ぎ合わせて、原始・古代から現代までのストーリーの骨格づくりが必要であると思う。史実に基づくストーリーの骨格ができあがれば、源平合戦の伝承や、江戸期の烽火場等を関連付けて、肉付けすることができるようになると思う。

### <利用について>

1) 屋島の位置付けで、市民の生活・学習・レクリエーションの場というのがあるが、このことに対する現状分析が必要ではないかと思う。

2) 山上に登るにはシャトルバスか車でのドライブウェイ利用者、健康のため徒歩により登る人がいるが、やはりケーブルの復活が望まれる。

3) 集客について、新たな市場を開拓するための基礎分析が必要だと思う。屋島が地元・西日本、さらには関東圏の人々にとってどう見られているのか、と同時に、海外など、新たな集客対象にとってどのように見られているか、情報発信や勧誘の方向性を見出せるような分析が必要だと思う。

4) 集客対象ごとに必要なインフラ、サービスを整理すべきだと思う。

5) 既存の施設(水族館など)は一定の集客実績があるので、その保全・改善を検討することも必要だと思う。

### (3) 主な課題について

1) 北嶺の活性化について、保存整備は必要だが、アクセスの悪いことが魅力だという声もある。活性化しすぎて本来の魅力が損なわれてはならない。ただし、照明、防犯対策などは必要だと思う。

2) 分析から導き出された課題が、屋島活性化の主たる原動力になるとは考えられない。屋島が現在観光客からも、地元の人からも支持を失った原因は、「古い観光概念」から抜け出していないことにあると思う。「人を引きつける魅力は何か」これに対する議論がなくては屋島活性化は難しいと思う。

3) 北嶺の活性化が望まれる。屋島山上には行くけれど、ほとんどの人が屋島寺を参拝して、獅子の霊巖からの瀬戸内海と高松の景色を眺め、子ども連れだと水族館に入る。大体のコースは決まっている。北嶺に足を向ける人はほとんどいない。案内板を設置し、来訪者に情報提供することが必要だと思う。

4) 屋島という価値を、市民・県民がどれほど認識し、理解できているかという基本的見地から、市民・県民への十分な理解促進と、認知拡大を図る施策を検討・実施していくことも課題としてとらえることができるのではないか。

5) 「信仰の山」としての位置付けから見た課題もあるように思う。課題や問題は、様々な視点や立場から抽出して課題が多い方が良いと思う。多様な顔を持つ屋島の、持続的な再生を行うには、「作り手、買い手、世間の三方良」を目指すのは非常に難しいが、限りなく近づけなければならないと思う。

6) 屋島の課題は、総合的にリンクしていると思う。屋島の上まで人を呼び込む屋島にするのか、それとも文化財・景観を重要視して温存していくのか、双方相容れないのではないかと思う。

7) アクセスについて、市内からの誘導、シャトルバスの充実という課題があると思う。

8) 案内施設の不足や樹木の立ち枯れの処理なども課題ではないかと思う。

9) 観光のストーリーづくりが必要で、見せるものは、必ず史実と関連付けることが必要だと思う。

10) 水族館を存続させるなら屋島のストーリーの中に組み込む必要があると思う。

11) 課題に優先順位を付けるべきだと思う。例えば水族館の再整備は緊急の課題である。最大の集客力を有する施設が老朽化により、いつ稼働できなくなるか時間の問題だと思う。一方、北嶺の活性化やケーブル・廃屋の跡地利用には時間がかかるし、じっくり検討すべき課題だと思う。その際の集客ターゲットも明確化が必要で、現状の来訪者を大事にしつつ、どこにターゲットをおくか考える必要がある。県内のみ

では限界で、県外、近畿圏、さらには海外からの来訪者も含めた課題を認識する必要があると思う。

#### (4) 基本的方向性(案)について

- 1) 「屋島とは何か」「屋島の魅力は何か」「歴史における屋島のありかた」等の屋島の本質を整理して、市民にわかりやすく語ることが必要だと思う。
- 2) 屋島の活性化については、新たなアイデアが必要であり、屋島の特性、価値の保存、屋島山上アクセス向上調査報告書などを参考にしながら考えていく必要がある。学識経験者、関係するオブザーバーの皆様からの意見などが大事かと思う。
- 3) 「屋島を高松市のシンボリック存在として今後市民の誇れる財産として位置づける」ためには、地権者や事業者を中心としたアイデアの展開ではなく、フェアな立場でアイデアを出せる仕組みが望ましいと思う。屋島会議に期待している市民の多くはそう願っているのではないか。
- 4) 集客ターゲットの明確化が必要だと思う。現状の来客者をベースとしつつ、新たな市場開拓なくして活性化はあり得ないと思う。具体的には、廃屋処理は概ね終了したので、水族館の再整備、ケーブルの取扱いにより、現在のお客様の満足度を上げることが最優先だと思う。中長期的には新たな市場開拓をもにらんだ施策の実施が必要で、高松空港を通る外国人観光客の引き止め、近畿圏、中国地方からの来客等を、ターゲットとするなど商圏を広げなければ来訪者の増加はないと思う。地元住民(幼稚園、小中学生等の子供を含む)の来訪促進は不可欠であるが、次いで、外国人観光客、近畿・中国地方からの来訪者増加、といったターゲットごとの施策検討と優先順位の整理が必要だと思う。
- 5) 市民・県民への屋島の価値の再認識の促進、理解の深化を図ることによる市民・県民参加型の活性化施策の検討が必要だと思う。
- 6) 観光、歴史資源としての価値を全国レベルで発信することでファン拡大を目指すとともに、屋島のブランディングとメジャー化へのシフトが必要だと思う。
- 7) 海、山としての大きな空間をアピールすることも必要だと思う。
- 8) 市内からのアクセス動線・システムの確立が必要だと思う。
- 9) 香川の「ジオパーク構想」と屋島をジョイントさせることも考えられる。

#### (5) その他

##### <屋島活性化のコンセプトについて>

- 1) 屋島会議で決められたことの実施主体はどこなのか？国なのか県なのか市なのか地元なのか、事業主体を明確にすることが必要だと思う。
- 2) 誰がするかということよりも、まず何をどうするかがないといけないと思う。言い換えれば、屋島活性化のコンセプトを決めることが必要であり、最初から誰がとかお金がいくらかかるかということは決めようがないと思う。
- 3) 過去、屋島についてはいろいろ話があったが、実際事業をする時にうまくいかなかったことがあった。この会議では、コンセプトをうまく推進していく運営組織についても同時に考えた方がよいと思う。
- 4) コンセプトを考えると事業主体等が条件としてついてくることもあるが、屋島をどうしていくのかということを議論しないと前に進まないと思う。
- 5) 屋島再生のコンセプトづくりには、一般市民の屋島に対するニーズを知ることが大切だと思う。一般市民の声も反映してほしいと思う。

##### <活性化のアイデア(メニュー)について>

- 6) 屋島を現代美術の島とする。現代アートと結びつけることは、一つの屋島活性化のコンセプトといえる。

7) 今四国の遍路が注目されている。屋島寺をもう少しピーアールしてもよいと思う。

8) 屋島は山上に上がらないといいところがない。ケーブルの跡地を遊歩道として整備すれば最近の健康・観光ウォーキングというニーズにも対応できる。

9) 風光明媚、文化財、自然環境だけでは観光地として成り立たない、能舞台の整備などインパクトのある整備も必要だと思う。

10) 大切なことは地元の人がいかに屋島を利用するかだと思う。小学校の遠足など子供の時に屋島に行き、屋島の素晴らしさを教育することが必要だと思う。

11) 高松市民が行きやすい場所をつくることが必要で、お金をかけずにみんなで屋島に行きやすい(行きたくなる)場所をつくる必要があると思う。

12) 屋島の資源(価値)の掘り出し、見直しをもう一度行い、感動できる場、シーンを創り出すことが大切だと思う。

13) 観光は、その地域において、宿泊、食事、物産購入等消費していただくことにより、地域が潤い、持続可能な取り組みとなる。その意味からも屋島の活性化として源平弁当等、屋島に関する物産等商品開発(話題となるお土産)や海から屋島を見て、源平合戦を解説するミニクルーズも一つの観光商品とすれば、風景を見るだけでなく、その地域の人との交流、触れあいも旅の大きな発見である。ガイドの養成も含め、地元の人と触れあう体験型の観光を取り入れることも重要であると思う。従来型の団体旅行は減少しており、個人旅行が主流になっている。その意味からも個人旅行で魅力のある観光地とならなければ観光客は来てくれない。体験型、ガイド養成、おもてなし、商品開発、ミニクルーズ等が必要だと思う。

##### <整備案>

14) 屋島における具体的な整備内容として以下のような意見があった。

- ・ 屋島水族館のリニューアル
- ・ 水族館の麓への移設
- ・ ケーブル跡地の遊歩道化
- ・ ケーブル運転の再開
- ・ 能舞台の設置
- ・ イサム ノグチの作品展示広場の整備
- ・ 屋嶋城跡・北嶺千間堂跡の整備
- ・ 廃屋の撤去
- ・ ミニマラソン大会の開催
- ・ 情報発信の充実
- ・ 案内板・説明板の充実
- ・ 麓での駐車場整備
- ・ 高松駅からの巡回バスの運行

## 2 市民意識調査結果

### (1) 目的

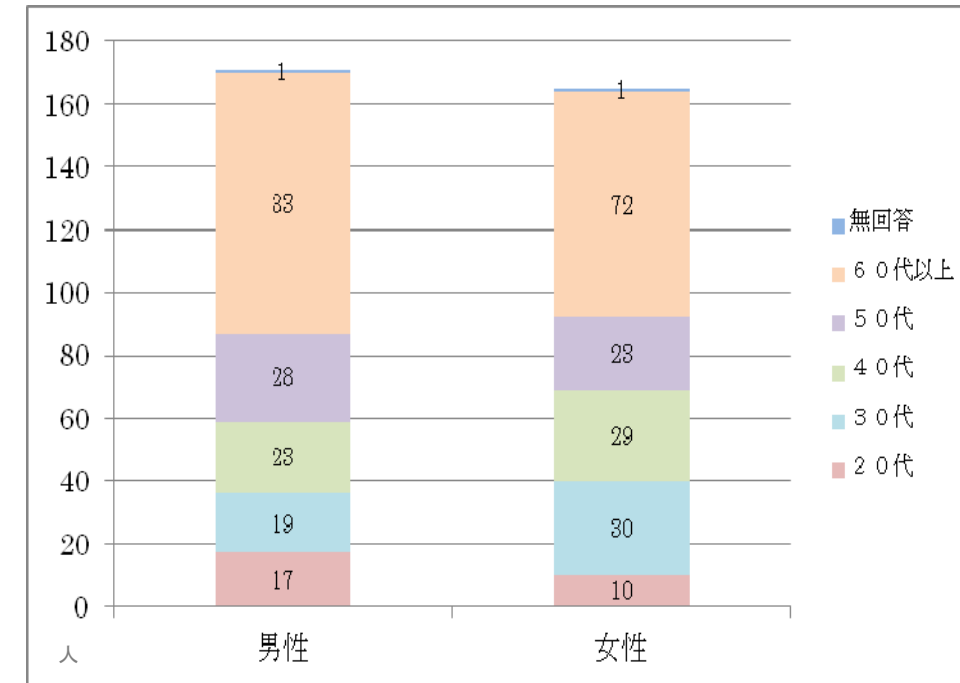
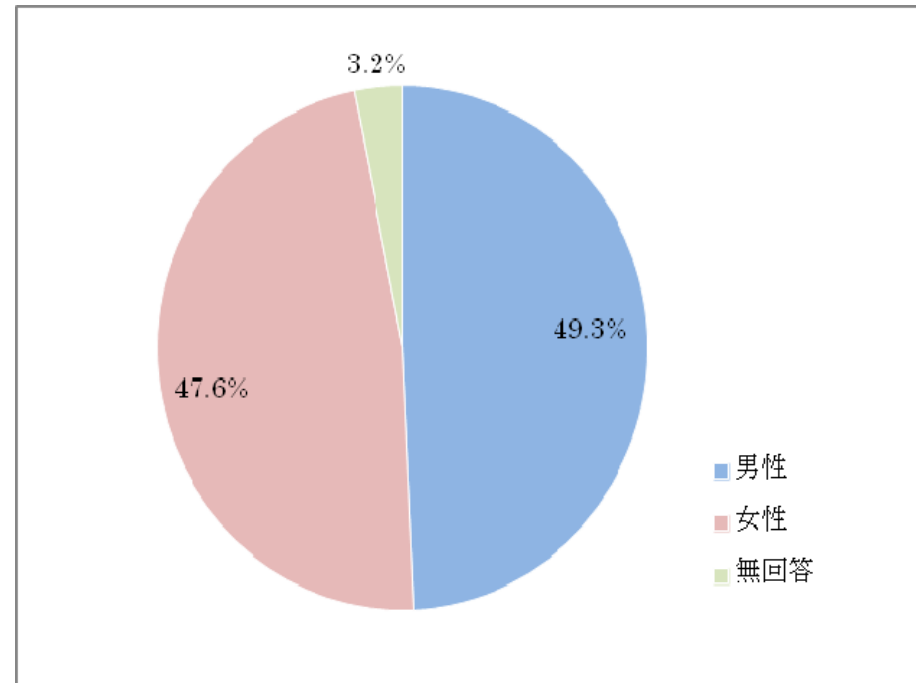
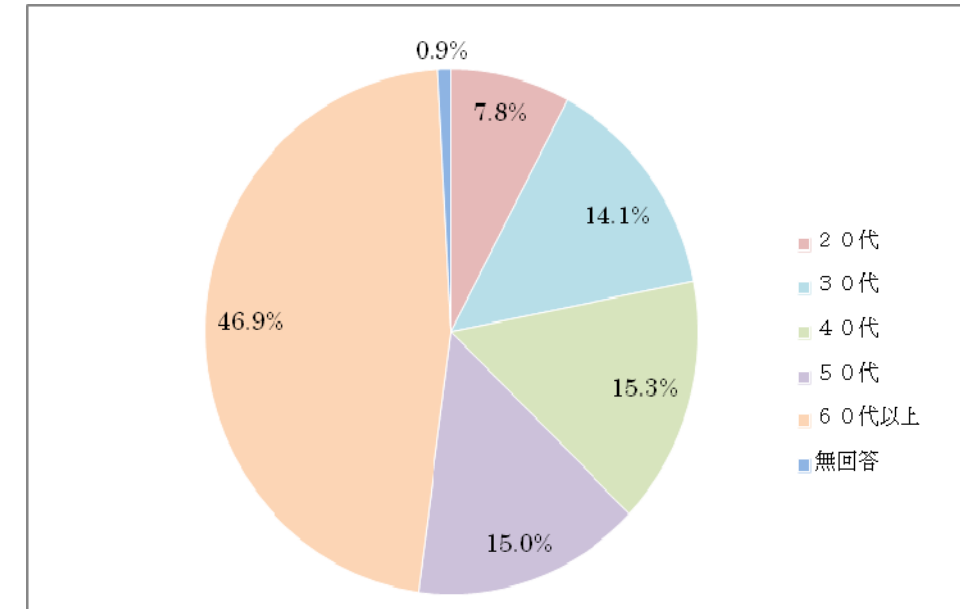
「屋島活性化基本構想（仮称）」策定に当たっての基礎データのひとつとして活用するため、高松市民を対象に、「屋島」についての意識調査を行いました。

### (2) 調査設計

- 調査対象：高松市在住の20歳以上の市民1,000人
- 調査方法：住民基本台帳よりランダムサンプリングし、郵送配布、郵送回収
- 調査期間：平成23年11月21日～12月2日
- 調査主体：高松市市民政策部企画課

### (3) 回収結果と回答者属性

- ・回収数は347人（男171人、女165人、不明11人）であり、回収率は34.7%
- ・性別は、男性49.3%、女性47.5%（無回答3.2%）と男性の方がやや多かった。
- ・年齢は60歳代以上が46.9%と約半数を占め、20歳代は7.8%と1割未満であった。



屋島についての市民意識調査票

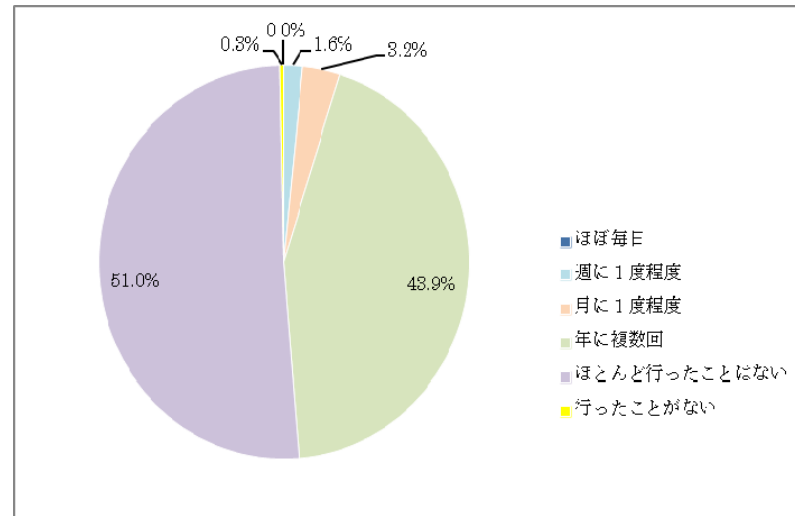
質問番号	質問
問 1	あなたはこれまで何度くらい屋島へ行かれましたか？該当する番号に○印を付けて下さい。 (4. 5. に○印を付けた方は( )内に回数をご記入下さい) 1. ほぼ毎日 2. 週に1度程度 3. 月に1度程度 4. 年に( )度程度 5. ほとんど行ったことはない。これまで( )回 6. 行ったことがない
問 2	あなたは屋島へどの季節に行かれますか(どの季節が好きですか)？該当する全ての番号に○印を付けて下さい。 1. 特に決まっていない 2. 春 3. 夏 4. 秋 5. 冬
問 3	あなたは一日のうちどの時間帯に屋島へ行かれますか(どの時間帯が好きですか)？ 該当する全ての番号に○印を付けて下さい。(6. に○印を付けた方は( )内に時間帯をご記入下さい。) 1. 特に決まっていない 2. 朝方 3. 午前中 4. 午後 5. 夕方 6. その他( )
問 4	あなたは屋島に、主にどのようにして(交通手段)行かれましたか？該当する全ての番号に○印を付けて下さい。 (6. に○印を付けた方は( )内に交通手段をご記入下さい。) 1. 徒歩 2. 自家用車 3. シャトルバス(平成18年度以降) 4. 屋島ケーブル(平成16年まで) 5. タクシー 6. その他( )
問 5	あなたは屋島へ誰と行かれましたか？該当する全ての番号に○印をつけて下さい。 (5. に○印を付けた方は( )内にご記入下さい。) 1. 1人で 2. 友人と 3. 家族で 4. グループで(学校の遠足等含む) 5. その他( )
問 6	あなたは屋島が瀬戸内海国立公園や、国の史跡・天然記念物に指定されていることを知っていますか？ 該当する番号に○印を付けて下さい。 1. 両方に指定されていることを知っている 2. 瀬戸内海国立公園に指定されていることを知っている 3. 史跡・天然記念物に指定されていることを知っている 4. 指定されていることを知らない
問 7	屋島の魅力は何だと思われませんか？該当する全ての番号に○印を付けて下さい。また、あなたが屋島について感じることを、思うことがあれば、6その他の( )内にご記入下さい。 1. 豊富な自然 2. 史跡 3. 水族館 4. まちなかから見える形 5. 屋島からの景観 6. その他( )
問 8	屋島の様々な見所についてお伺いします。以下の見所等について( )内の該当する番号に○印を付けて下さい。 (複数回答可) ・屋嶋城跡 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・屋島寺 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・源平合戦古戦場(安徳天皇社他) ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・獅子の霊殿 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・北嶺の遊鶴亭他 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・長崎鼻(砲台跡他) ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・遍路道 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・屋島神社および参道 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・四国民家博物館(四国村) ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし ) ・新屋島水族館 ( 1. 知っている 2. 知らない 3. 行った 4. 行ったことはない 5. 行きたい 6. 興味なし )

質問番号	質問
問 9	現在屋島には様々な施設がありますが、これらの施設についてどう思われますか？ 以下の施設について( )内の該当する番号に○印を付けて下さい。 ・食堂・売店・自動販売機 ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・アズマヤ・ベンチ ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・新屋島水族館 ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・トイレ ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・駐車場 ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・遊歩道 ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい ) ・説明板・案内板 ( 1. もっと充実してほしい 2. 今のままでよい 3. 無くてもよい )
問 10	あなたが屋島の活性化に必要なと思う施設は何ですか。該当する全ての番号に○印を付けて下さい。 (11. その他に○印を付けた方は( )内に具体的な施設をご記入下さい。) 1. 博物館(ガイダンス施設) 2. 屋外ギャラリー 3. 案内所(インフォメーションセンター) 4. コンビニエンスストア 5. キャンプ場 6. 魚釣り公園 7. ジョギングコース 8. 古墳等の文化財整備施設 9. 研究・研修施設 10. 広場 11. その他( )
問 11	昭和4年(1929)に開業した屋島ケーブルが平成17年(2005)に利用者が少ないため廃止されましたが、屋島ケーブルが再開されたら利用しようと思われませんか？該当する番号に○印を付けて下さい。 1. 利用する 2. 利用しない 3. 分からない 4. その他( ) <参考>「屋島ケーブル」 (廃止直前の運賃等) 「屋島登山口駅(琴電屋島駅より徒歩5分)」から「屋島山上駅」まで 所要時間5分程度、20分間隔 【運賃】 大人 片道700円 往復1,300円 小人 片道350円 往復 650円 「シャトルバス」 (現在の運賃等) 「JR屋島駅」/「琴電屋島駅」から「屋島山上」まで、所要時間10～18分程度 概ね1時間間隔 【運賃】一律 片道100円
問 12	今後の屋島の活性化についてどのように思われますか？該当する番号に○印を付けて下さい。 また、1. 2. 3を選んだ理由をご記入下さい。 1. 一層の活性化が必要だと思う 2. 現状でよいと思う 3. 活性化は必要ないと思う (理由 )
問 13	屋島では「屋島夕夜景フェスタ」や「屋島お宝再発見ツアー」などを開催しましたが、あなたが屋島で開催してほしいイベントなどがあればお教え下さい。 ( )
問 14	様々な課題を解決するとともに、屋島の持つ特性や価値を再発見し、屋島の保存と活性化を図るため、屋島に対するご意見・ご要望、改善点等あれば何でもご記入下さい。 ( )
問 15	最後にあなたの年齢、ご職業等をお教え下さい。該当する番号に○印を付けてください。 住所 高松市( )町 性別 1. 男性 2. 女性 年齢 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上 職業 1. 学生 2. 会社員 3. 会社役員 4. 自営業 5. 専業主婦 6. 無職 7. その他

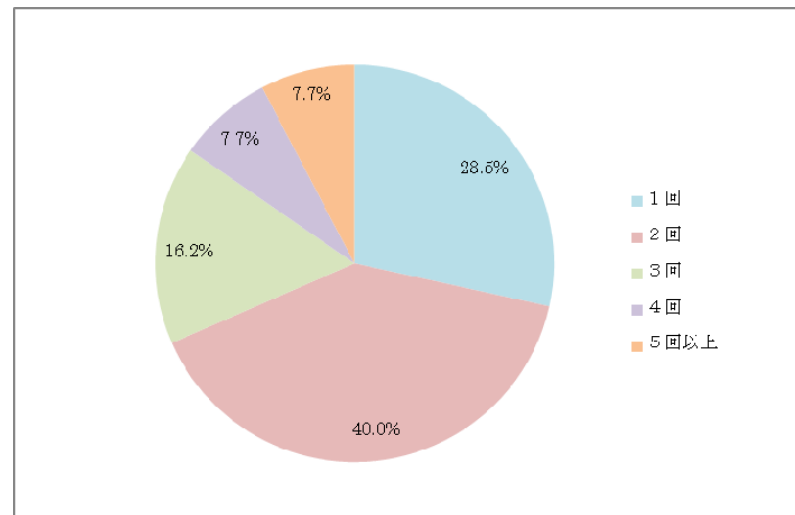
以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。返信用封筒(切手不要)に入れ、平成23年12月2日(金)までに投函してください。

**（問1）あなたはこれまで何度くらい屋島へ行かれましたか？**

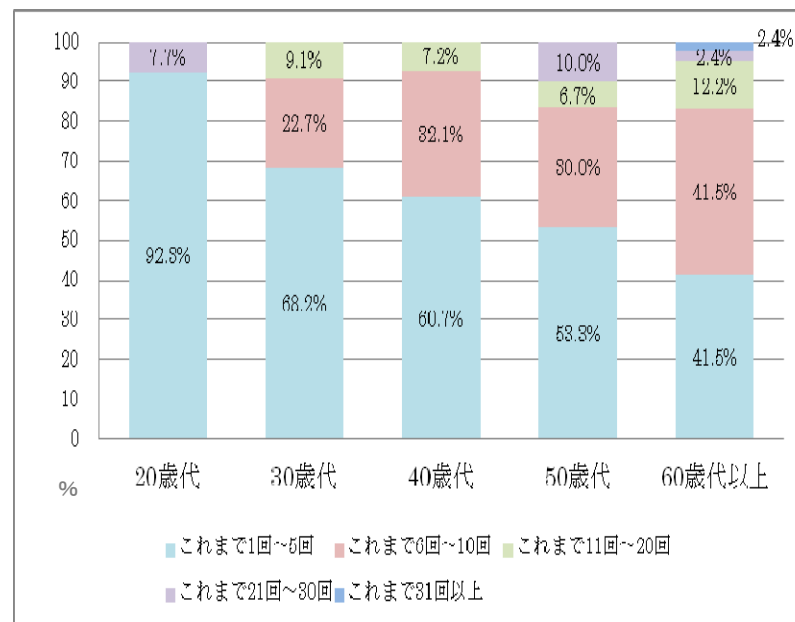
・回答者全体では、ほとんど行ったことはないが最も多く(51.0%)、次いで年に複数回行く(43.9%)が多かった。ほぼ毎日行く人は0人、週に1度程度や月に1度程度は極めて少なく、20歳代にはこれまでに行ったことがないが1名いた。



・年に1回または複数回行くと答えた人は2回という回答が最も多く、次いで1回で、1回～3回が全体の8割以上を占める。

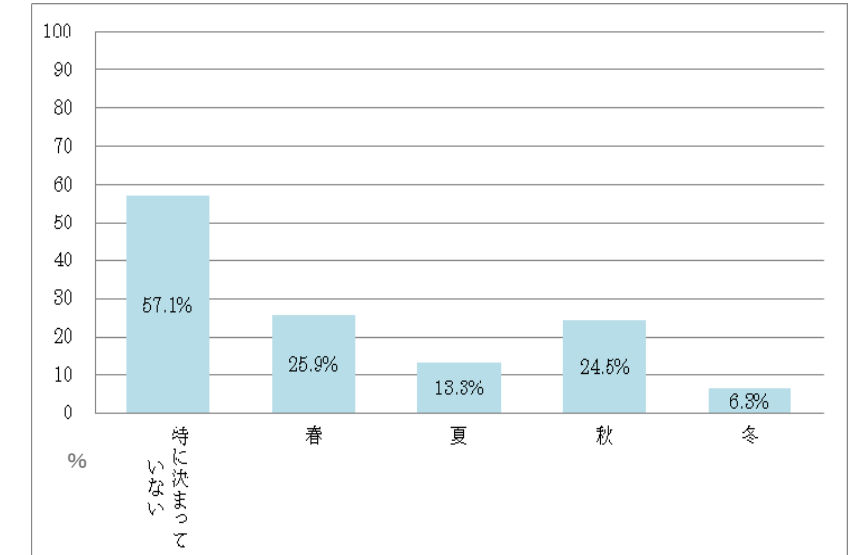


・ほとんど行ったことはないと答えた人のこれまでの回数を年齢別にみると、20歳代では1回～5回が90%以上を占め、60歳代以上では1回～5回、6回～10回という回答がともに約40%であった。



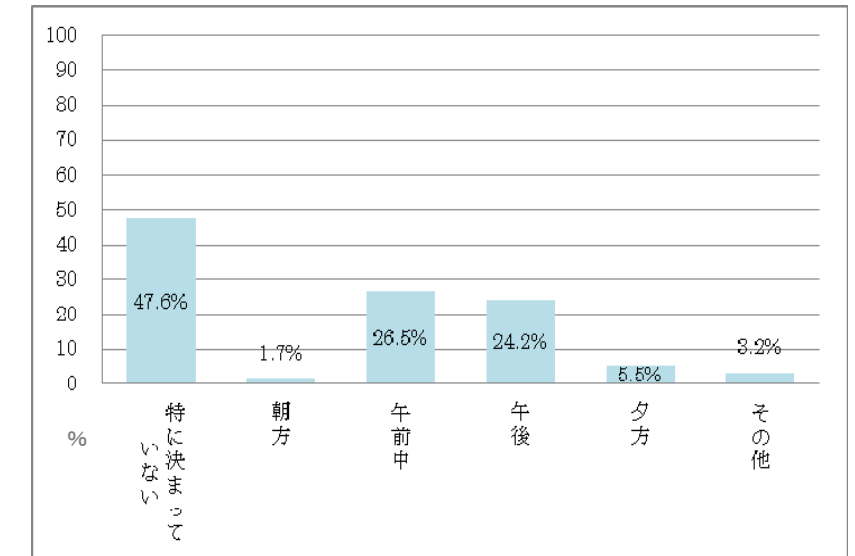
**（問2）あなたは屋島への季節に行かれますか（どの季節が好きですか）？（複数回答）**

・屋島を訪れる時期を決めていない人が半数(57.1%)を超え、春・秋に訪れる人がおよそ4人に1人となっている。  
・冬に屋島を訪れる人は少ない。(6.3%)



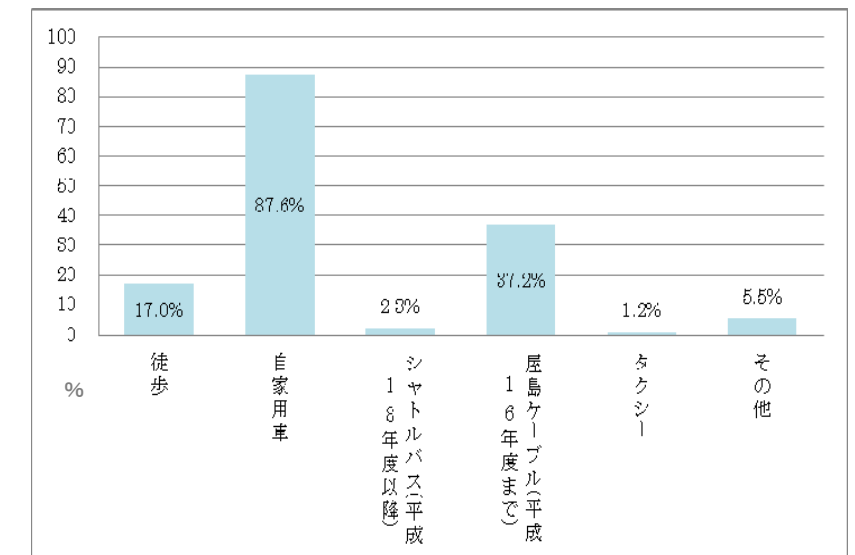
**（問3）あなたは一日のうちどの時間帯に屋島へ行かれますか（どの時間帯が好きですか）？（複数回答）**

・特に決まっていないと答えた人が47.6%と多く、次いで午前中(26.5%)午後(24.2%)であった。



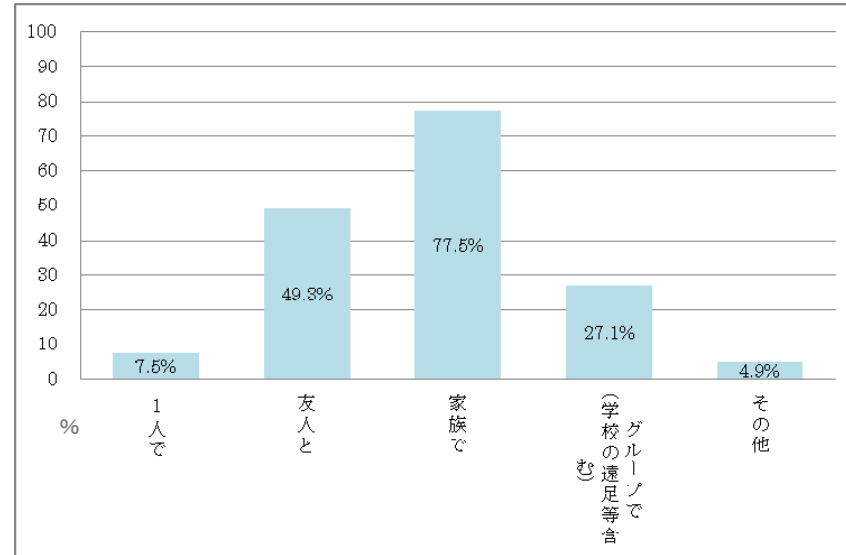
**（問4）あなたは屋島に、主にどのようにして（交通手段）行かれましたか？（複数回答）**

・屋島へのアクセス手段は、自家用車が9割近くを占め(87.6%)、次いで現在は廃止されている屋島ケーブル(37.2%)で、シャトルバス利用者は2.3%と少なかった。また徒歩と答えた人が17.0%あった。  
・その他と答えた人のアクセス手段には、貸切バス(観光・巡礼)、自転車などがあつた。



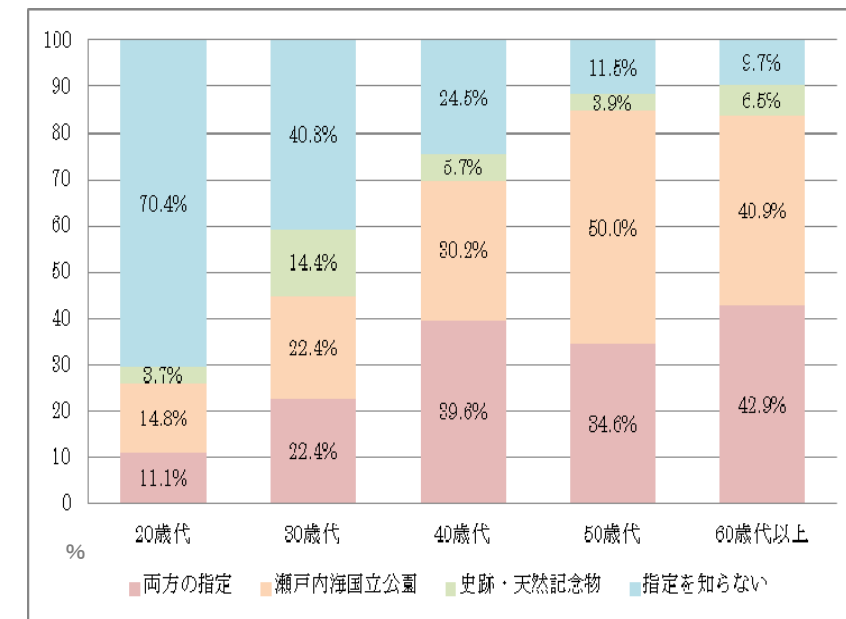
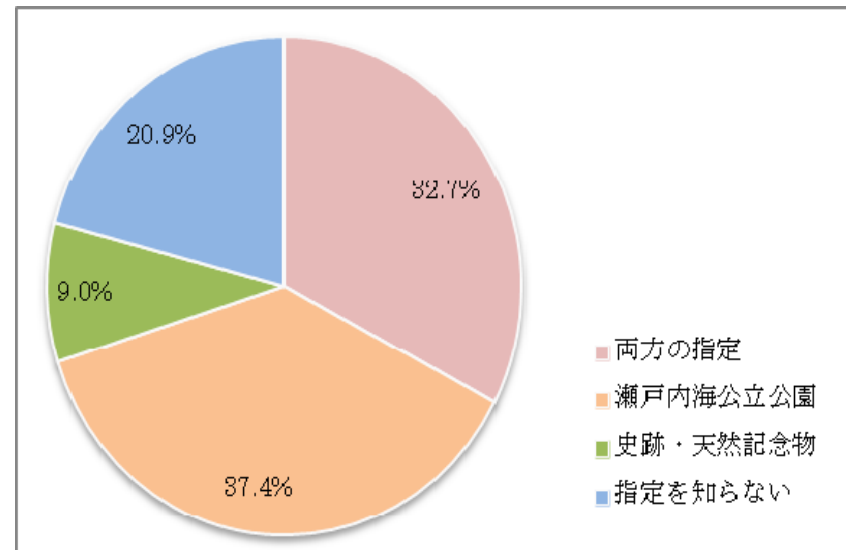
**（問5）あなたは屋島へ誰と行かれましたか？（複数回答）**

・屋島へは家族で行った人がおよそ4人に3人と多く(77.5%)、次いで友人と行った人が約半数(49.3%)いた。その他と答えた人は、親戚、仕事、来客の案内などであった。



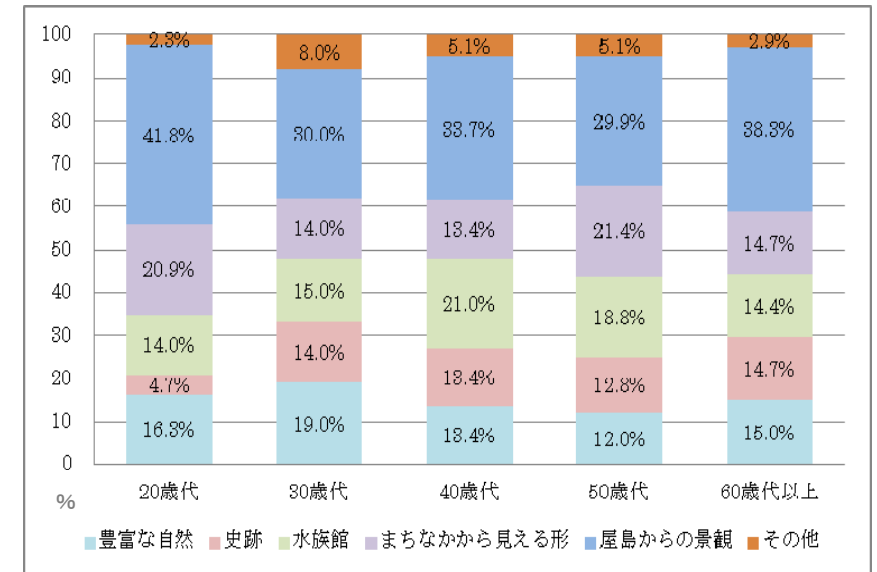
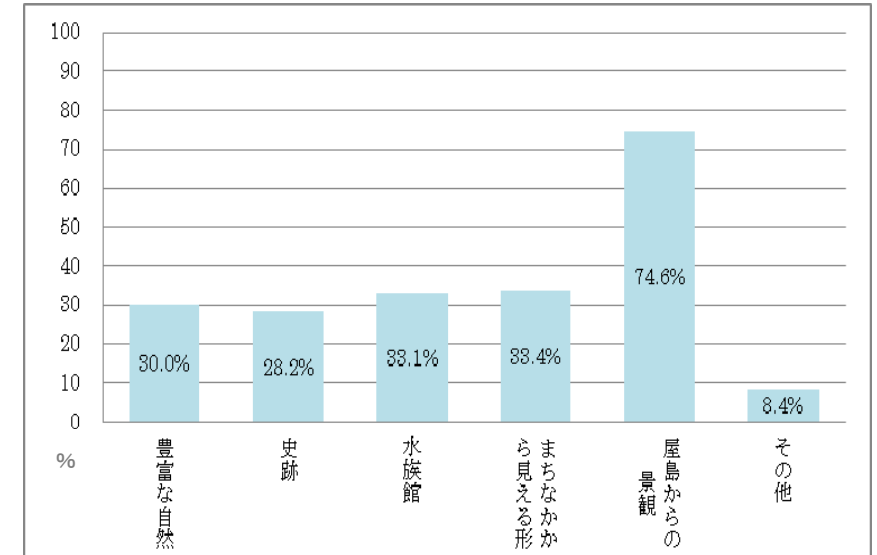
**（問6）あなたは屋島が瀬戸内海国立公園や、国の史跡・天然記念物に指定されていることを知っていますか？**

・瀬戸内海国立公園に指定されていることを知っている人は全体で70.1%と約7割を占めたが、史跡・天然記念物に指定されていることを知っている人は41.7%と半数以下で、双方に指定されていることを知らない人も20.9%で約5人に1人いた。  
・年齢別にみると、年齢が高いほど認知度は高かった。



**（問7）屋島の魅力は何だと思われませんか？（複数回答）また、あなたが屋島について感じる事、思うことがあればご記入下さい。**

・屋島の魅力は屋島からの景観(眺望)と回答した人が全回答者の74.6%と4人に3人の割合であり、最も多い。  
・豊富な自然(30.0%)、史跡(28.2%)、新屋島水族館(33.1%)、まちなかから見える形(33.4%)などに魅力を感じている人は、いずれも3割程度となっている。  
・その他と答えた人の屋島の魅力は、遊歩道、静けさ、うどん屋などであった。  
・年齢別では、さほど差はなかった。

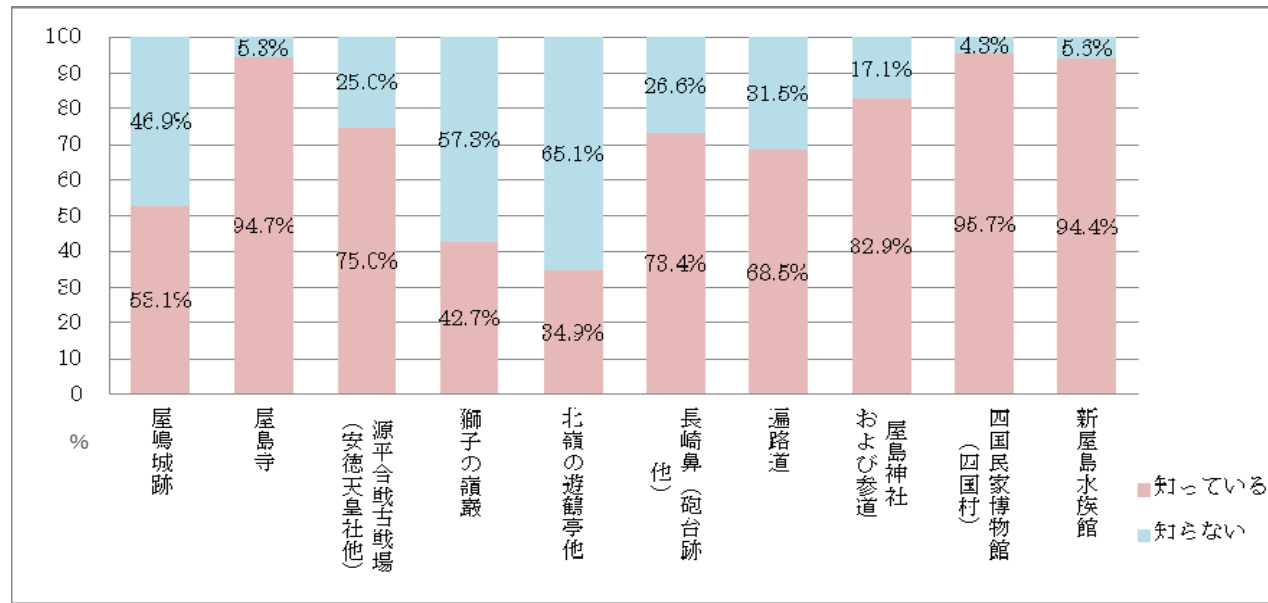




（問8）屋島の様々な見所についてお伺いします。

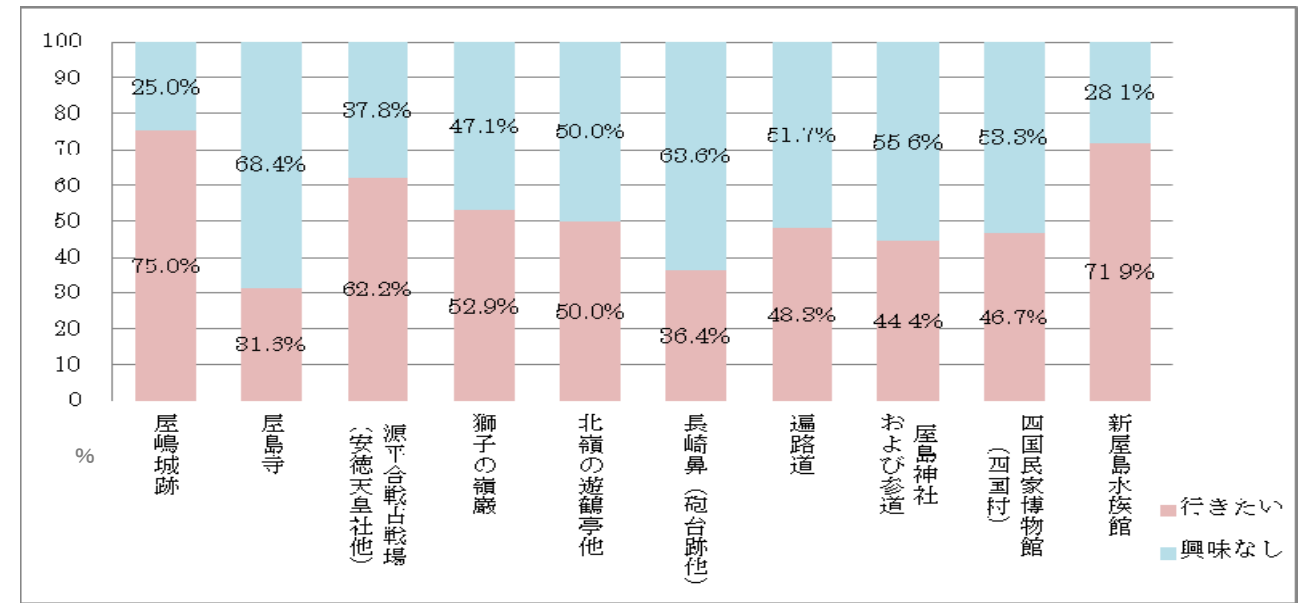
＜認知度＞

・屋島の様々な見所について、認知度の高いものは、四国民家博物館(四国村)(95.7%)、屋島寺(94.7%)、新屋島水族館(94.4%)、屋島神社および参道(82.9%)でその認知度は回答者の8割を超えた。一方、獅子の嶺巖や北嶺の遊鶴亭他の認知度は半数に至っていない。



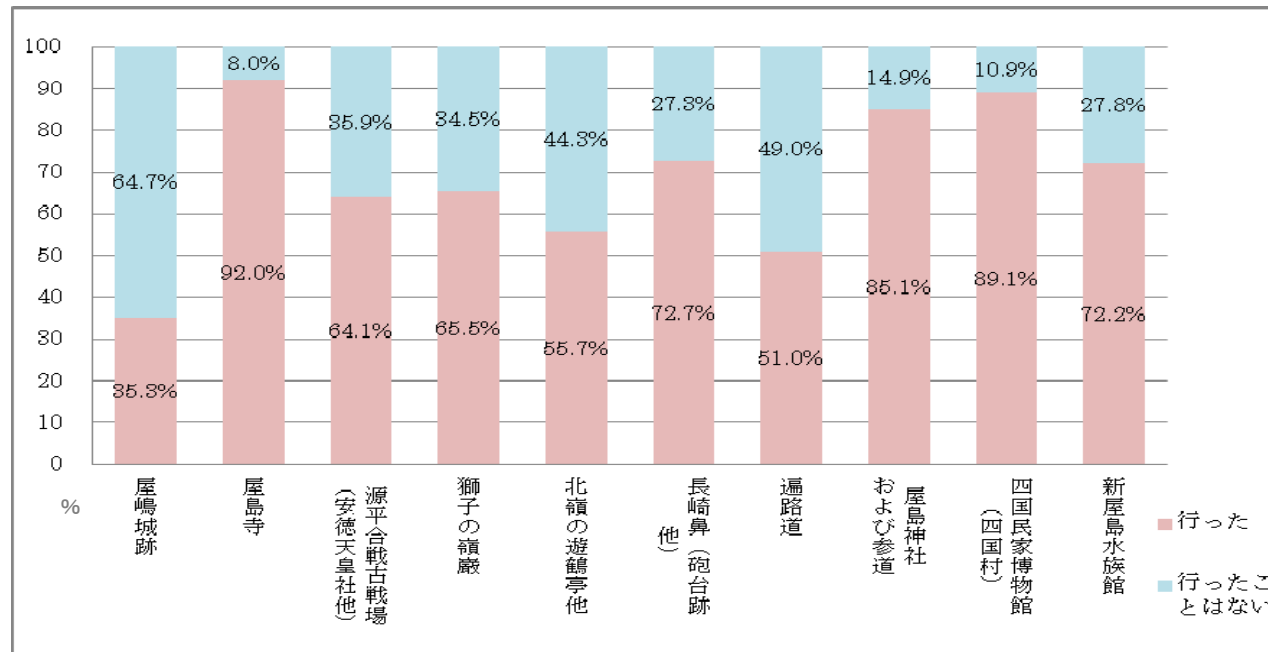
＜興味＞

・さらに屋島の見所についての興味については、回答者数が少なかったが、(認知度と関係していると思われる)行きたいという回答が多かったのは屋嶋城跡(75%)、新屋島水族館(71.9%)、源平合戦古戦場(安徳天皇社他)(62.2%)であった。



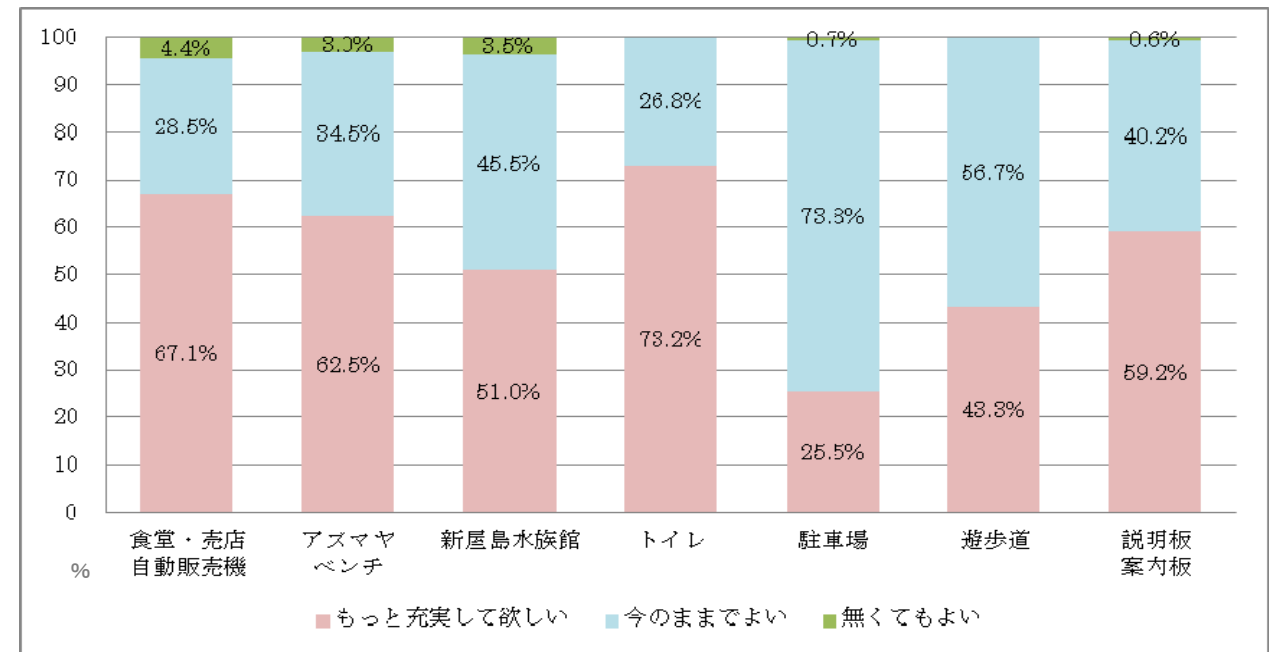
＜訪問歴＞

・実際に行ったことのある屋島の見所は、屋島寺(92%)、四国民家博物館(四国村)(89.1%)、屋島神社および参道(85.1%)などが多く、次いで長崎の鼻(砲台跡他)(72.7%)、新屋島水族館(72.2%)などである。



（問9）現在屋島には様々な施設がありますが、これらの施設についてどう思われますか？

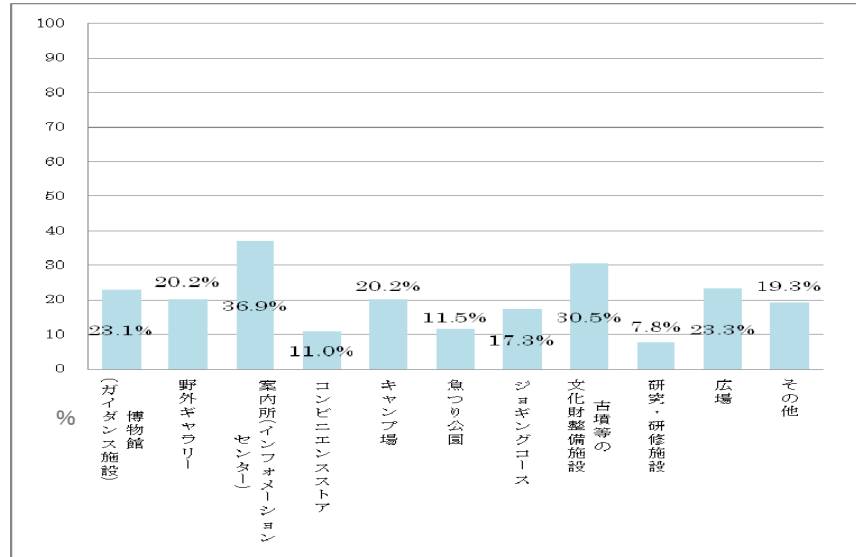
・屋島の既存施設への要望は、駐車場及び遊歩道を除きいずれも回答者の半数以上がさらなる施設の充実を望んでいる。





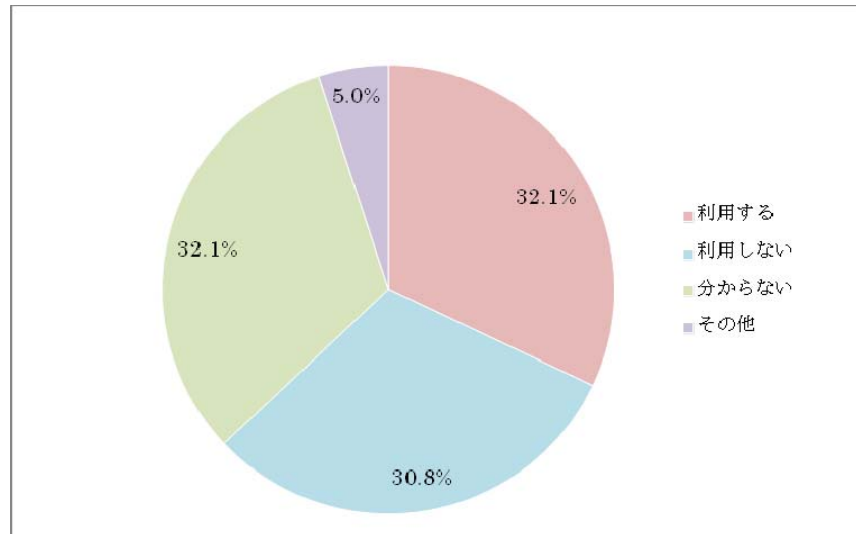
(問 10) あなたが屋島の活性化に必要なと思う施設は何ですか。

・屋島の活性化に必要なだと考える施設としては、案内所(インフォメーションセンター・36.9%)、古墳等の文化財整備施設(30.5%)が回答者の3割を超えた。  
 ・博物館(ガイダンス施設)や野外ギャラリー、広場、キャンプ場も回答者の5人に1人はあった。  
 ・その他の回答には、自然を満喫しつつ子どもを遊ばせることができる広場飲食店の充実(以上は全ての年代が回答)などがあつた。



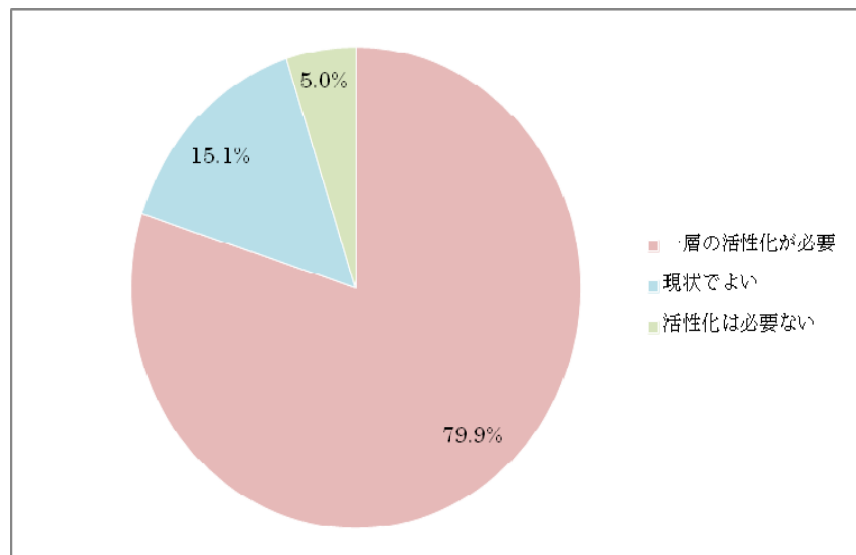
(問 11) 昭和4年(1929)に開業した屋島ケーブルが平成17年(2005)に利用者が少ないため廃止されましたが、屋島ケーブルが再開されたら利用しようと思われませんか？

・回答者の3割強(32.1%)が、屋島ケーブルが再開されたら利用すると答えたが、利用しないと答えた人も30.8%とほぼ同数であった。



(問 12) 今後の屋島の活性化についてどのように思われますか？

・現状でよい、活性化は必要ないと答えた人が約2割はいるものの、屋島の活性化を望む人は、回答者の約8割(79.9%)を占めた。



<一層の活性化が必要と答えた人の理由は以下のようなものである。>

**○寂しい、暗い、怖い、寂れている等現状のマイナス要因の改善**

- ・寂れている。(複数回答有)
- ・以前より活気が無くなった。(複数回答有)
- ・屋島からの風景はきれいだが、他に魅力が無い。夜は暗くて少し不気味だった。
- ・今以上に廃れていくと思うので。
- ・利用者が少ないから。
- ・せっかくのきれいな景観に廃墟となったホテルがありイメージダウンになっているので整備してほしい。
- ・平日の屋島は寂しい。もっと集まれる場に。
- ・行くたびに寂れていくので、観光で来た人も廃墟を見てがっかりすると思う。歴史や自然が豊富なので、大勢がリピーターとして訪れる(地元の人も含め)ようスポーツ公園などできればよいと思う。
- ・古くさくて暗い感じ。
- ・現状維持は退化に等しいと思うから。
- ・山上の開いていないホテルや店があることで寂れた様子を増している気がする。
- ・少し人気がないように思う。
- ・昔のような活気が欲しい。山上にある廃墟のような建物が恥ずかしい。そしてもったいない。
- ・イノシシ、サルなどがいて一人で歩いていると恐ろしいし、怖い。
- ・人が少なすぎ、もっと人をひきつける施設が必要。
- ・古い、暗いイメージがあります。おばけが出るなど。
- ・古い建物が汚い。
- ・昔は山からの人声が聞こえてきたのに今はそれが無い。
- ・昔はにぎやかだったので、気軽に行けないように思う。
- ・多くの人が屋島へ行くようになればよいと思う。
- ・今までは忘れられつつあるので、一層の活性化施策が必要。
- ・昔はもっとにぎわっていた気がする。店が閉まったりしているから。
- ・屋島西町に住んでいるが、屋島地区が以前より活気がなくなったように思えるので。
- ・せっかくの「屋島」が元気がないように見えるのは寂しい。
- ・(イメージが悪い) 駐車場に上ったらすぐ廃墟の建物ばかり目に入る。
- ・昔のような華やかな活気、人気なくて寂しい。
- ・観光客が少なくなって寂しい。
- ・県外の友人や親戚が来た時行くが綺麗だけど閑散としている。もっと人が来るように考えた方がよい。
- ・二度と行こうと思わない。
- ・田舎というイメージを持たれているため。

**○水族館などの施設、見所**

- ・水族館以外にも子供を連れて行ける公園などがあつたらいいと思う。
- ・屋島といえば水族館しか思い浮かぶが、もっと宣伝(何があるのか知らない)すればよいと思う。
- ・せっかく水族館などがあるのに、活性化しないと閉館してしまうのではないかと考える。
- ・水族館以外に行こうと思わない。
- ・水族館だけでなく、何か屋島を代表するキャラクターや娯楽施設があれば、もっと行くかも。あと料金も少し高めな気がする。

## ○道路とその料金

- ・寂れていく一方では、寂しいと思うので、もう少し料金が安くなるとか、無料になると、人が増えるのでは。
- ・車の通行料金を無料にする。
- ・屋島ケーブルが廃止され残念。多くの人に来てもらうために自動車交通料金が高いように思われる。
- ・有料道路の無料化、原付自転車を通行できるようにすること。
- ・ドライブウェイの料金が高いので利用されない。
- ・地元に住んでいるのでドライブウェイの混雑が迷惑。
- ・道路は無料化すべき。
- ・市民、旅行客の利用できる安い交通、売店の利用はどうか。
- ・有料道路を無料化して、維持整備に努め、私営から第3セクターに移行。

## ○景観

- ・瀬戸大橋から高松に入ると屋島が一番、目に入る。
- ・すばらしい景観を活かしたい。
- ・屋島からの景観や自然が素晴らしいので、もっと多くの人に足を運んでもらいたい。
- ・何だか寂しすぎる。屋島の山上よりの眺めをアピールする。
- ・屋島からの瀬戸内海の景観の素晴らしさをもっとアピールするべき。
- ・屋島からの景観美をもっと多くの観光客に周知する必要がある。
- ・サンポートから見た屋島、屋島からみたサンポートの印象付けが必要。
- ・宿泊施設があれば素晴らしい。景色は最高。
- ・素晴らしい屋島の眺めをもっともっと多くの人に見せてあげたい。季節にあったイベントを考えたらよい。

## ○地域のシンボルであり貴重な資源

- ・瀬戸内海国立公園や国の史跡・天然記念物に指定されているから。
- ・屋島は高松を象徴する山だから。
- ・高松の名所のため。
- ・屋島は高松の顔。
- ・高松のシンボル。
- ・シンボルとして大切にしたいから。
- ・高松市のシンボルなのにすたれてほしくない。
- ・お正月には初日の出など、水族館もありもっと行きたいと思う。
- ・せっかくの名勝を無駄なく活性化できたらと思う。
- ・史跡をこのままにしておくのはあまりにももったいない気がする。
- ・国立公園である。自然が豊富。これを活かさずして・・・もったいない。
- ・香川県では数少ない観光資源なので、もっと活用化が必要。
- ・香川県の有意義な場所として大切にしたい。
- ・屋島は国の史跡としても観光地としても大変よいと思うので活性化が必要。
- ・あまりにももったいない資源である。
- ・香川県の昔よりの自然の場所だから。
- ・源平古戦場の歴史の案内、子どもたちには山上の珍しい水族館。

- ・家族でゆっくり一日くつろげる場所として最適だと思う。
- ・パワースポットのように、行くと心が癒される場所だから。
- ・市内から近いということを利用してほしい。

## ○新たな企画、施設等の必要性

- ・月に一度ぐらい何か行事をするとよいと思う。
- ・子供の頃を思うと行事が減った。
- ・もっと人が来るようなイベントなどをするとよいと思う。
- ・屋外ギャラリー、イベントを開催して集客をねらう。
- ・廃業ホテルなどを壊し、子どもが遊べる広場などをつくる。
- ・売店の充実、価格の問題。
- ・観光で他県の人を案内しても土産物屋も少なく、お土産になるような物もない。
- ・度々行っても、見る物がない。
- ・観光客、県民が楽しめる施設が少ないから。
- ・若い家族が楽しめる施設や公園が必要。
- ・車で行って寺を参拝して引き返す人が多い。
- ・泊まりやすい宿泊所を設ける。
- ・宿泊施設が無くなったのは分かるが、あらためて作ったらどうか。
- ・風光明媚だけでは無理。また来たくなるような企画を期待。
- ・もう少し街灯を増やす、花を増やす。
- ・道路をもっと整備してほしい。

## ○情報戦略の必要性

- ・知らないことが多い。パンフレット等で宣伝する。（複数回答有）
- ・全国的に屋島を知ってもらう。（複数回答有）
- ・観光客が遠のいた原因は何か。これをスタートにしなければならない。集客がヘタ。隣の高知や愛媛を見習え。
- ・情報などがほしい。
- ・香川県の観光地だが、もっとPRが必要。
- ・見晴らしのよい場所での観光案内、説明の充実した案内板が必要。
- ・古戦場などの広報PR。
- ・NHK大河ドラマ放映時に、もっと思い切ってやるべきだった。
- ・県の重要な資源であるが、利用・アピールが不十分。
- ・もっと宣伝して、まず地元の人をもう一度ひきつけるようなものにしてほしい。
- ・せっかく昔からある有名な屋島をもっと全国にアピールしないとダメ。
- ・県外の方へも宣伝をしっかりとしてほしい。屋島をTVドラマしてはどうか。
- ・香川県の観光地としてアピールできるから。

### ○屋島の活性化が地域の活性化に繋がることへの期待

- ・香川県の表玄関であり、高松市民の象徴、整備を進めてほしい。（複数回答有）
- ・市の発展に役に立つと思う。（複数回答有）
- ・高松市イコール屋島ということで高松市の活性につながるため。
- ・地元なので、地域が活性化してほしい。
- ・活性化により町があらゆる面で豊かになると思う。

### ○屋島をよい形で残すこと、他県の人等に自慢できるような場所であることへの期待

- ・子供の頃、また女学生の時の遠足など、屋島は心のふるさと。有名な方が屋島から眺める瀬戸内海が一番美しいと言われたとか・・・。何年前か前、亡き夫とケーブルで屋島へ登った折、活気も人影もなくて、これではもったいないことだと言っていた。どのようにしたら活性化するのかよく分からないが、もう少し宣伝をして観光客が来てよかったと感動し、心に残る思い出をつくるようにと願っている。
- ・自分が生まれ育った場所なので、娘が大きくなった時に家族で観光できるスポットとして残したいから。
- ・昔は修学旅行の団体が山上の旅館に宿泊したりして活気があった。今は当時をなつかしく思う。何とかならないか。
- ・昔は高い建物が少なかったので山上からの眺望や、瓦投げを楽しんだり、散策したりした。屋島そのもののよさ、史跡として山上台地の特色を。
- ・私は若い頃はよく山上へ行ったが、20年位行っていない。多くの人が行きたいと思うような所にするために工夫が必要だと思う。
- ・「観光」を考える以前に、地元の人間に愛される場所になるべきと思う。観光地にする必要はない。
- ・県外の友人が遊びに来て屋島を案内しようとは思わないので。
- ・観光に来た県外の友人にもっと屋島を勧められるとよいと思っている。
- ・屋島へ遊びに行こうと思うことがないので、そう思ってもらえるようにすることが必要だと思う。
- ・近くに観光地があると、県外から来た友人等を連れて行くのに便利。
- ・屋島に行きたいと思うような環境が不足している。

### ○観光地としての活性化への期待

- ・活性化されると、もっと観光客が増えると思う。（複数回答有）
- ・県内に目立った観光施設がない。（複数回答有）
- ・客層が少ない、若い人が来やすいようにすべきだ。観光地なのだから。
- ・県内に人を呼び込むため。
- ・県外からの観光客、中国からの観光客のより一層の誘致。
- ・人の集まりが経済活性を生む。
- ・栗林公園のガイドをしていて思うことだが、公園の見学の後、自家用車の人には勧めやすいし「これから行きます」と返事は返るが、電車、バスを利用する人(長野等の内陸からのお客様について)は、乗り換えが幾度もあると説明すると、時間、経費との関係でなかなかよい返事が得られないので残念に思う。特に晴天の日など。
- ・観光地としてもっと充実した方がよいと思う。
- ・国の史跡等に指定されているのに、観光地が少ない。
- ・重要な観光地だから沢山の人に来て欲しい。
- ・せっかくの観光地が今のままではもったいない。

- ・県の数少ない観光地なのでもっと人が集まって来るように。
- ・香川県への観光客誘致。
- ・せっかくの名所である。高松全体の魅力づくりに貢献できる。
- ・観光資源としてもっと魅力あるものにしていくべきと思う。
- ・県を代表する観光地だから。
- ・高松には観光場所が少ない。
- ・高松市を代表する観光地なのでがんばってもらいたいため。

### <現状でよいと答えた人の理由は、以下のようなものである。>

#### ○自分の生活と無関係

- ・あまり行かないので、そういう所へ税金を投入してほしくない。
- ・屋島にあまり行かないので分からない。
- ・利用する機会があまりない。
- ・行ったことがないので、現状が分からない。
- ・興味があまりない。とりあえず、山頂に行く料金が高い。

#### ○活性化による自然破壊への懸念等

- ・変に活性化して、自然が壊れるのはよくないから。
- ・活性化に伴い、屋島の自然が破壊されるのではないか。
- ・あまり行く機会がないが、自然を大切にするのであれば現状でよいと思うので。
- ・自然をそのまま残してほしい。

#### ○その他

- ・水族館が新しくなって、県外から利用客が増えたのはよいが休日等混雑して困る。

### <活性化は必要ないと答えた人の理由には、以下のようなものである。>

#### ○活性化による自然破壊への懸念等

- ・屋島寺、遍路道を中心とした静かな地域を望む。
- ・リピーターが育つような観光資源がない。これ以上箱物をつくらず、自然を残すべきだと思う。
- ・イベントを開催するのではなく、人が集まりやすい施設、雰囲気をつくり出せばよいと思う。
- ・地理的な問題もあり、景観や史跡など屋島そのものの魅力を伝えることが大事だと思う。
- ・人為的な（イベント、食堂、売店等）活性は古き良き遺産が損なわれるので必要ないと思う。

#### ○屋島以外の活性化を

- ・魅力が少ないから。他の場所を活性化したほうがよい。
- ・今さら何をやっても無駄だと思う。

（問13）屋島では「屋島夕夜景フェスタ」や「屋島お宝再発見ツアー」などを開催しましたが、あなたが屋島で開催してほしいイベントなどがあればお教え下さい。

### ○歴史にちなんだイベント（歴史的資源を活かしたイベント）

- ・ 源平合戦史跡に関わる祭、イベント（複数回答有）
- ・ 何か歴史に関連したもの。（複数回答有）
- ・ 史跡探訪（複数回答有）
- ・ 来年2012年はNHK大河で平清盛が放送されるので、源平合戦の地として名所をアピールするべきだと思う。（複数回答有）
- ・ 歴史ブーム。来年の大河の流れにのって歴史をテーマにしたイベント。
- ・ 那須与一の扇の的再現イベント等歴史に関するイベント。
- ・ 大河ドラマ、韓流ドラマ、源平時代ドラマ、屋島ダヌキのドラマ。屋島を舞台(土台)にしたメディアを使った映画等への働きかけと併せて環境の整備。
- ・ 屋島の合戦を一般人参加で、海と陸両方を使って再現する(装束を着て)。来年の大河ドラマとタイアップして出演者をゲストに招いて、スタンプラリー等オリエンテーリングで屋島の名所を廻る。夏は肝試しをする。
- ・ イベントとは別に、歴史的価値を見直すという形で常時来ることができる場所にしてほしい。価値はあると思う。
- ・ 季節に応じたイベント、年間を通じた行事。屋島寺、四国村等民間の協力。
- ・ 遍路道を整備しアピールするツアー。

### ○自然とふれあえるハイキング・ウォーキングなど

- ・ マラソン(ジョギング・駅伝)大会（複数回答有）、屋島周遊マラソン。
- ・ ウォーキング(複数回答有)、屋島山上一周ウォーク
- ・ 山上ハイキング
- ・ ハイキング、マラソン等年2回春、秋にやってはどうか。参加者への特典としてポイントで助成金に相当。
- ・ 屋島山上で歩くツアー。知らない所がいっぱいあるから。
- ・ 名所ごとにスタンプを置いて、スタンプラリーをしてほしい。

### ○「貴重な自然」「貴重な文化財」ということにとらわれずに、地域の象徴的な場として様々な活用を

#### <コンサート>

- ・ コンサート等、市民が四季折々に楽しめる場であってほしい。（複数回答有）
- ・ 若い人達をもっと来るようにライブ等も良いのでは。（複数回答有）
- ・ 音楽祭、音楽イベント。（複数回答有）
- ・ 野外コンサートの開催、丸亀まつりのようなまつりの開催。（例、たぬきまつり）
- ・ 屋島年明けスペシャル。
- ・ 夜のイベントより昼間のイベントを増やしてほしい。ペットショー、キャラクターショー、カラオケ大

会、ダンス大会など。

- ・ フラダンスのイベント。ベリーダンスのイベント。各種コンサート。
- ・ 屋島神社や四国村でのコンサートは大変見たかった。地元の協力、努力なくして、活性化はあり得ないと思う。
- ・ 北浜アリーのようなカフェやライブイベント、雑貨等のマルシェ等人気のあるイベントを行ってほしい。

#### <イルミネーション・花火等>

- ・ イルミネーション等(複数回答有)
- ・ 「屋島夕夜景フェスタ」を増やしてほしい。（複数回答有）
- ・ 花火(複数回答有)
- ・ かわら投げ大会
- ・ お盆のときの花火大会見学ツアー

#### <食>

- ・ B級グルメフェア、屋島スタンプラリー(複数回答有)
- ・ 年齢に関係なく楽しめるイベント(源平グルメまつり)。
- ・ 何か食についてのイベント。
- ・ 関東に住んでいたころ、体験型の食のテーマパークがあり、よく足を運んだ。いつも混んでいた。山頂に「うどんミュージアム」を作ればどうか。
- ・ バーベキュー(讃岐畜等、海鮮)期間限定。屋島から愛をさげぶ。
- ・ ビアガーデン(屋島駅までの送迎バス付き)

#### <その他>

- ・ 屋島をあまり意識せず、様々なイベントを開催したらよいと思う。
- ・ 最近、着物で街に繰り出すイベントも増えてきたように思う。着物を着て参加するというようなものはどうか。着物着用の人には特典ありというものもいいのではないか。
- ・ 映画、ペットの催事など。
- ・ 独身男女の出会いツアー。
- ・ 建築、アートを楽しめるもの。
- ・ 庵治へ近いので(海を渡れば)庵治につながる。庵治も一緒に楽しみましょうといった内容のイベント。
- ・ 道をつけるのは無理かもしれないが、渡し船や瀬戸内海の魚介類が食べられる屋形船などもおもしろいかも・・・。
- ・ 桜まつり、正月のイベント。
- ・ 花は花見、夏は花火、秋は祭り、冬はイルミネーション、コンサートなど春夏秋冬、様々なイベントを開催してほしい。
- ・ 公的機関による研修施設(会社、団体の研修企画に対応したもの)
- ・ パラグライダーなどよいと思いましたが。

## ○現在屋島にある資源、地域の資源を活かして、地元密着型のイベントを ＜季節の祭りや定期的な市＞

- ・ 日曜市、フリーマーケットを行う。（複数回答有）
- ・ 屋島寺での秋祭りなどあっても楽しいかも知れない。
- ・ 「屋島お宝再発見ツアー」の実施回数が少ないので多く開催してほしい。
- ・ 盆踊りのようなお祭りイベント。
- ・ あるのかどうか知りませんが、屋島音頭という歌、踊りを作って広め、皆の前で踊ってみては。（子ども達も親しめるような色々な歴史等をおりこんで。）
- ・ お寺、神社で能を奉納する。音楽祭を開く。移動農村歌舞伎を催す。
- ・ 香川県産物産フェア。

## ＜家族で参加できるイベント・子どものためのイベント＞

- ・ 子ども向けのイベント（複数回答有）
- ・ 子供どもと一緒に参加できるようなイベントがあったら参加してみたい。
- ・ 今思い当たらないが、家族で行って楽しめるものがあれば。
- ・ 押し花体験(満濃町はコスモス押し花体験が毎年あるか、遠方なので行けず残念。)木工教室(例えば竹トンボ等、子や孫たちと手作り体験できると楽しそう。
- ・ 民謡、昔からの踊り、昔からの売店等、子どもの喜ぶイベントなど。
- ・ 子ども(園児、小学生)を中心としたイベント(ミニ動物園や何かを作ったり(ものづくり)、縁日みたいなもの)があれば行ってみたい。
- ・ 写生大会があり、毎年お弁当を持って参加していました。我が子も連れて行きたい。
- ・ コンサートや子どもが参加できるようなイベント、アスレチックもよいと思う。
- ・ ウォークラリー(参加費 500 円ぐらいで、昼にはうどん接待付)家族が楽しめる工夫が必要。
- ・ 長崎鼻での釣り大会、子どもが好きな手づくりイベント(満濃公園でよくやっている。いつもいっぱい)夏休みの宿題もできるので、大喜びである。(工作や、実験など・・・)
- ・ 家族連れで楽しめるイベント、水族館でのイベント等。
- ・ 高齢者が一人でも参加できる催し。
- ・ 小さいお子さんは、休みの日、公園や水族館に行き、高齢者は四国村へ行くことがよい。高松市民にとってはこの2つは重要だ。

## ＜屋島の自然を活かしたイベント＞

- ・ 自然の四季を感じられるようなイベントがあれば。
- ・ 満月まつりには毎年参加している。こういったイベントを色々な形でしてほしい。
- ・ 釣り大会、夜空を見る会。
- ・ 屋島の草花のガイドツアー(山登りをしながら)。
- ・ 四季折々のよさを象徴するイベントを定期的に行い、住民や県外の人も楽しみにするようなもの。歴史的催し物を屋島で。周辺の海からも含めて撮影会他。
- ・ ホタル観察会、自然観察会など。
- ・ 夕夜景フェスタはビアガーデン式なので飲まない人は行かない。星を見る会、七夕の会、夕涼の会等。

- ・ もっと桜の木を増やし、桜のトンネルをつくる。
- ・ 屋島でネイチャーゲーム。

## ＜水族館＞

- ・ 今年久々に行ったのは水族館に行きたかったから。水族館に関するイベント。
- ・ 新屋島水族館はリニューアルオープンができ、とてもよかったと思う。水族館を中心にしてのイベントを期待している。
- ・ 水族館を夜間営業する。

## ○イベントよりも、屋島に行きやすくなる工夫を ＜食事等ができる、ゆっくりできる場所がほしい＞

- ・ イベントの時だけでなく、気が向いた時行きたくなるような魅力がある場所。例えば同窓会、友達との食事やお茶会など。
- ・ イベントをするのであれば、トイレ、レストランをもっともっと充実してほしい。以前、イベントに参加したが、寒くて休憩する所もなく、おなかもすいて、早く帰りがかった。
- ・ 清潔な店でゆっくりコーヒーを飲みたい。どんな時間でも。
- ・ 屋島の自然、札所、これらにあった「癒し」を感じられるもの。落ち着ける小さな美術館、ガラス展。
- ・ イベントよりも、ゆっくり座って景観を望める場所を多くつくってほしい。

## ＜PR＞

- ・ 「夕夜景フェスタ」など知っていれば行ったのに、行事など PR が不足しているのでは。
- ・ そんなイベントを開催していたことも知らない。せっかくやるなら、広告宣伝にもお金をかけて、PR して、集客するべき。

## ＜屋島を学ぶ機会＞

- ・ 屋島に住んでいても、屋島のことをあまり知らないので学べる機会があればよいと思う。
- ・ 学校へ遠足、校外学習を促す。子どもを育て体験させておくことは、長いスパンで考えて大切なことと思う。
- ・ 写真教室等の生涯教室。

## ＜道路を無料にしてほしい＞

- ・ ドライブウェイの無料化。
- ・ 山頂までイベントのために行こうという気になれなかった。ドライブウェイを無料にしてほしい。また「〇〇がくる!」「〇〇展」など分かりやすい方がいいかもしれない。

## ○イベントに否定的な意見

- ・ よっぽどのことがない限り、わざわざ屋島まで行こうとは思わない。
- ・ イベントはいらない
- ・ 本当に必要なのか。
- ・ 本当に行こうと思える魅力が今ひとつないように思う。
- ・ 屋島等、観光にお金かけないでほしい。税金はもっと有効に(福祉に)
- ・ 何もしない方がよいと思う。全てが一過性にすぎず、イベントをしても資金が必要。自然を大切に整備したらどうか?←山上を公園にする。

## ○その他

- ・ たくさんのイベントが行われていることは承知しているが、余暇の時間が少ないため参加できていない。間もなく定年を迎えるので、様々なイベントに積極的に参加していきたい。
- ・ 具体的に思い当たらないが、何度も訪れたいと思える物(事)があればいいのでは。

〔問14〕様々な課題を解決するとともに、屋島の持つ特性や価値を再発見し、屋島の保存と活性化を図るため、屋島に対するご意見・ご要望、改善点等あれば何でもご記入ください。

## ○全体の意見の約3割を占めるのが屋島へ行くためにお金がかかることに関するもの。

- ・ 有料道路の値下げ(複数回答有)
- ・ 有料道路の無料化(複数回答有)
- ・ 屋島ドライブウェイ料金所の廃止。
- ・ ドライブウェイが無料であれば、行く回数も増える。せっかくの素晴らしい景観をみんなの憩いの場にしてほしい。
- ・ 通行料の無料化、遊歩道の整備。(自転車道を含む)
- ・ 交通機関を利用する者にとってはシャトルバスは助かるが、自家用車で行く人が多いと思うのでドライブウェイの料金が高いため利用(行く)回数が自然に減る。地元の人が行って楽しめるように、行きやすいように考えてほしい。
- ・ 登山有料道路の無料化。これがネックのように思う。無料になれば若者等が夜景等の観光に出向くと思う。
- ・ すべての料金を少なくしてほしい。
- ・ 有料道路を無料にすれば、もっと行こうと思う。水族館に行きたいと思っても通行料があるのでやめる。
- ・ ドライブウェイ料金を安くして客数を増やせば自然と活性化につながると思う。
- ・ 屋島ドライブウェイを無料にすれば、活性化が一段と進む。無料にしない限り、何の施策をしても抜本的な解決はしないと思う。
- ・ ケーブルがなくなったことは寂しい。孫達を連れて行ってやりたい。有料道路が安くなれば気軽に出かける人も増えるのでは。ひと休みできる屋根付き(テーブル・イス)のスペースがほしい。
- ・ 通行料金を廃止して、毎日でも気軽にドライブ、夕涼み、散歩などできるようにならないか。
- ・ 通行料金を無料にすること。廃墟のような建物は全て新しい施設に。世界中から観光客を呼べるように、一流のホテル誘致。例：シエラトン、ハイマット、ヒルトンなど。

- ・ ケーブルが高かったので、再開は望むが料金設定がどうか。有料道路料金がネックになっているのでは。
- ・ 私が若い時は、こんぴらと屋島は観光旅行の施設としては双璧だったと思う。修学旅行で旅客がいっぱいであった。確かにこんぴらは旅行者が減っているが、屋島は最悪である。私があまり行かなくなったのは、マイカーの有料化が原因。
- ・ 駐車代、通行費等、お金がかかり過ぎると思う。屋島に登っての楽しみ方がわからない。お花見とかもみじ狩り、おしゃれなレストラン、もっと自由に遊べるようにしてほしい。
- ・ 有料道路の無料化。洞窟および長崎鼻の整備。
- ・ 屋島山上にうどん店を出してみてもは。山上に行く有料を期間限定で無料にしてみてもは。
- ・ 一度観光名所にして訪れても、再度行こうとは思わない状態になっている。水族館もリニューアルしてすぐは賑わっていたけれど、今は活気もない。通行料を無料にするなど、気軽に行ければ地元住民も行きやすくなるのではないだろうか。
- ・ 少し、料金が高めのような気がするので、もう少し安いと行く頻度が多くなると思う。
- ・ 有料道路を早く無料化してほしい。まず、お金を払ってでない屋島に行けないという考えがあるので、足が遠のくのでは。
- ・ とにかく有料道路の無料化。原付自転車を通行できるようにすること。
- ・ 自動車の通行料を安く(平日割引等)してほしい。
- ・ 有料ではなく無料で上げられることを希望する。なお、無料にした場合でも、駐車料は取らないこと。廃屋全てなくし芝生広場に。
- ・ 有料道路を値下げし、利用しやすくする。駐車券にクジを付ける等。
- ・ 県民に対して活性化したいのか、県外、海外客に対して活性化したいのかで変わらと思う。史跡、文化財なら1回行けば十分と思う。有料道路に対して価値が無いから行かない。B級グルメを作って、全国に屋島(名前)をアピールする。
- ・ 県外から来ているが、まず屋島山上へ車で行く時にお金を払う事にびっくりした。料金高いし、そして山上のおみやげ屋さんとか古い感じで、暗い印象。そして草が生えて、ごみとかの印象が強かったので、まずこの辺から印象が悪くなり、1回行くだけでいいかなと思った。
- ・ スカイラインを無料に早くした方が、興味ある人がもっと来るはず。保存するならば、人数が少ない方が保存できるのでは。
- ・ 行きやすくするためにも、屋島の道路をもっと幅を広げる等の整備が必要ではないか。山上への通行料金は、大変な障害となっていると思う。
- ・ 有料道路の廃止。峰山公園のように気軽に行きたくなる場所になればうれしい。
- ・ 屋島山上への道路の無料化、屋島寺への道路の整備。
- ・ ドライブウェイを無料にすること。営業していない建物は取り壊し、公園など広場にする。
- ・ 通行料をもっと安くして欲しい。時間帯を長くして欲しい。(気軽に行けない)
- ・ 水族館の入館料をもう少し安くしてほしい。
- ・ 新屋島水族館の入館料をもう少し下げる。
- ・ 山上でも物価を高くしない。屋島のみに限らず、人々の公共に対するマナーをよくする。
- ・ 屋島の活性化は、屋島寺の協力が不可欠。屋島の異風改革を望む。



## ○寂れた印象を与えるものの撤去

- ・ 古い建物をのけて整備してほしい。（複数回答有）
- ・ 最近に登っていないのではっきりしたことは言えないが、ドライブウェイを上ってもゴーストタウンのようでは来客の案内もできないので、下から上っている値打ちがあるものを。
- ・ 屋島の山頂に旅館等がなくなりとても寂しく感じる。寂れた感じもするし、おみやげ店等も充実してほしいと思う。
- ・ 歩道の途中の休憩所の落書きはもう消しているのか？とってもみすぼらしかった。（前の話）
- ・ 道も建物も汚い。薄汚れている。もっと自然を活かしたものにする。
- ・ 空き店舗、朽ちた建物が活性化を邪魔している。
- ・ 廃墟化している建物を早く撤去し、元の自然に戻してほしい。
- ・ 山頂の廃墟となっている宿泊施設の撤去、整地を早急に。
- ・ ごみや廃屋の除去、遍路道の整備。
- ・ 廃屋等の建物は寂れた印象なので、速やかに撤去し明るい印象になるようにしてほしい。桜の木を植えるなど。
- ・ 交通機関の宣伝をしてほしい。廃棄の建物を撤去する。
- ・ 車やバスで上がった時のイメージが悪い。今は工事しているかもしれないが、閉まっている店があったりして駐車場の雰囲気が悪い。だっただっただけで、屋島に来たというワクワク感がない。
- ・ 古くなったホテル等でイメージが悪くなっていると思う。
- ・ 屋島の活性化、大変嬉しい。素晴らしい要素がたくさんあるのにもったいないと思っていた。（廃墟の建物はあるだけでイメージダウンである。早く解体してほしい。）

## ○整備して欲しいもの

### <道路・交通手段>

- ・ ケーブルよりもロープウェイの方がいいのではないかと思う。レストランも充実してほしい。
- ・ 道を広げたりして交通の便をよくしてほしい。
- ・ 駐車場から水族館や寺が遠い。高齢者にはしんどいと思う。
- ・ 観光地としてももう少し交通の便をよくした方がよい。
- ・ 屋島近辺は道が狭く、もっと道路整備をした方がよいと思う。屋島陸上競技場も新しくするそうなので、車が渋滞しないように、道路の開通など充実してほしい。
- ・ 県道屋島公園線の屋島寺の門前から中腹までの1.3 kmの区間の歩行者専用道路、いわゆる遍路道を高齢者および子どもが安心して安全に利用できるようにさらに整備していただきたい。例えば、道路の段差の幅がはっきり判るように黄線を表示していただきたい。
- ・ 集客UPしても、車が渋滞するようではいけないと思う。
- ・ シャトルバスの回数増。ケーブルの復活。日本のみにとどまらず他地域への情報発信。
- ・ 屋島の魅力はなんと言っても、その形にあると思うし、屋島から見える景色もその一つ。そう考えるとケーブルカーは再開するべきだし、ドライブウェイにも工夫が必要。
- ・ 利用しやすい交通の便、ドライブウェイ利用料金、源平の歴史と現代の何か若者の集まるイベント、をまぜたことを。
- ・ 誰でも簡単に行けるようケーブルの再開を望む。

### <食事ができる場所>

- ・ レストラン等または商業施設を誘致し、昼は景観を楽しみ、夜は夜景を楽しむことができればよいと思う。
- ・ いいだこのおでんをメインにB級グルメを紹介するイベント。
- ・ うまい「食」には皆、興味がある。
- ・ 食堂や売店など、もう少し明るい雰囲気で家族連れでも気軽に立ち寄れるようにしてほしい。食べ物は特に充実してほしい。そうしたらみんな来るはず。
- ・ 何か美味しい食事処とか名物的なものを作って女性客がたくさん気軽に来る所がほしい。
- ・ いいだこのおでんや、水族館、さぬきうどんの家があれば孫を連れて、きれいな景色も見せたい。

### <手すり、トイレ等便益施設>

- ・ 高齢者にやさしい手すり付きトイレ(水洗)になればよい。
- ・ 若い頃は気にならなかったが、何よりもトイレを充実してほしい。年をとって身体が不自由になり、車イス使用しているので。
- ・ 憩いの場所をつくりお年寄りが利用できる施設を作ってほしい。
- ・ 宿泊施設をつくること。
- ・ 家族で利用できる施設を充実してほしい。
- ・ 観光地らしく、整備され、活発的な屋島へ呼び込めるようにしてもらいたい。上に上がってもがらんとして、人々が勝手に見て帰るだけの寂しい屋島になっていると思う。

### <宿泊施設等>

- ・ 親類、友人達が高松へ来てくれたら案内する代表的な所はサンポート、栗林、屋島の3つだと思う。その屋島が今の状態では残念な限り。水族館も立派だと思うが、何かマッチングしない感じ。やはりケーブルが必要ではないか？景観が一番と思える。宿泊施設もあつたらいいと思う。
- ・ キャンプ場等の宿泊設備やリーズナブルな宿泊施設を作り、ケーブルも値段を安くして再開し、家族で楽しめるようになればいいと思う。
- ・ 民間の協力、観光客、地元の高齢者も気楽に行けるようにする。宿泊施設の充実。

### <子どもが遊べる・のんびりできる・気軽に行ける場所>

- ・ せっかくの自然がもっとのんびり体を休めながら一日でもいれる場所にしてほしい。あまり観光ばかりに、重点をおいてほしくない。
- ・ あまりお金がかからずに、子どもと遊びに行けるような所があればもっと頻繁に屋島に行くようになると思う。
- ・ 山上でゆっくりお茶ができればうれしい。おしゃれなカフェ等。
- ・ 子どもが行きやすそうな祭
- ・ 子ども達の遠足や家族でお弁当を持って・・・など楽しめる場所になればよいと思う。
- ・ 景色もきれいだし、広いし、歴史ある場所なので、今はやっている「ゆるキャラ」を作ってアピールしたり、寺、神社、水族館それぞれが楽しめる場所にしてほしい。長い時間過ごせるスペースにしてほしい。公園や食事ができる場所があるとよい。県外から来る人を連れてきたい場所にしてほしい。



- ・ 廃屋等は撤去し、温泉施設などにできないか。テニスコートや体育館などスポーツや子どもが遊べる公園をつくれれば水族館への来場者も増えるのでは。例えば、島根のアクアスのように。
- ・ きれいな景観や広い場所、歴史や文化がたくさんあって、行く機会が少ないものはもったいないと思う。イベントだけではなく、いつ行っても楽しめる場所として考えてほしいと思う。

#### <その他の施設>

- ・ 大きなショッピングモール。
- ・ 屋島への入口、登り口の最初の辺りがもっと風情がある様子にしてほしい。
- ・ 屋内、屋外コンサート会場、イベント会場があれば人が集まる機会が増えると思う。また古い建物の整備が必要だと思う。
- ・ 屋島は廃っても札所はなくなる。今を活かして景観のよい箇所にベンチ等設ける。頂上に洒落た喫茶店でも。無料化すれば若者も？
- ・ 琴平、栗林公園の如く、屋島でしか味わえない魅力スポット、年代を問わず「出かけよう」と言える場所づくりが必要。景観がよく、アクセスも良好。
- ・ 山上にもっと魅力ある施設があればよいと思う。
- ・ 花でも木とか建物とか他にないようなもので人が寄ってくるような所が必要と思う。

#### ○情報発信

- ・ 屋島に関する情報をもっと発信してほしい。（複数回答有）
- ・ 特性や価値が知られていないと思われるので、PR していく事が必要では。（複数回答有）
- ・ 私は屋島といえば水族館としか、頭に浮かばない。素晴らしい国立公園、史跡、天然記念物あるのをすぐ思い出すように PR をして、行きたいようにしてほしい。
- ・ 屋島に関心を持てるようなイベント企画&宣伝。
- ・ 県、市共に協力し合って何とかもう一度屋島を。日々待っている。
- ・ 山上からの眺め、様々な文化史跡、等々をもう少し PR すればよいと思う。
- ・ PR できることはたくさんあると思うので、後は PR の仕方だと思う。
- ・ 屋島のマスコットをつくってはどうか。
- ・ 栗林公園、琴平(こんびらさん)とセットで県外に PR。
- ・ 屋島に詳しい人にボランティアガイドになってもらい、ガイド希望者に付き添って同行してもらおう。主な JR 駅から屋島観光のためのバスを出して、低価で各地を廻る。(ガイド付きで)以上のことを全国の新聞やインターネットを使って PR する。パワースポットをつくる。
- ・ イベントがあっても知らなかったりする。周知不足。水族館にあった大きな円形の水槽が他のものになっていたのが、少し寂しかった。
- ・ もう少し地区の人が力を入れて運動すればよい。

#### ○歴史・自然を活かして欲しい

##### <歴史>

- ・ 転勤で県外から来ている。外から観ても、屋島から観てもすてきな所と思う。もっと魅力的になれば・・・。屋嶋城跡に関するものを何か。
- ・ 屋島の歴史を全国の人に知ってもらう為、大河ドラマにしてほしい。
- ・ 将来の子ども達に歴史的なよさを伝えていってほしい。
- ・ 屋島といえば源平合戦の地である。歴女にアピールすべきである。NHK 大河ドラマで来年は平清盛である。大々的にアピールすべきである。加えて朝日町の「平家物語歴史屋館」を屋島に移すべきである。大河ドラマで観光をアピールしている。

##### <自然・景観>

- ・ 屋島の自然が財産であると考え。従って、人工的なものはあまりつukらない方がよい。水族館も山の上にあるのは不自然。海岸近くがよいのでは。屋島は遊歩するのが一番と考える。
- ・ 屋島からの景観の維持、屋島の自然の保存をお願いしたい。いつ行っても、屋島は特別な存在であってほしい。
- ・ 四季を楽しめるように、自然に少しずつ手を加えていけば、屋島の魅力に+αの見所ができると思う。
- ・ 自然、環境に重点をおいた場所にしてほしい。
- ・ 豊かな自然、歴史をアピールする。
- ・ 保存はよいことだと思うが「活性化＝観光客がたくさん来る」ということになる。無理に屋島に来させる必要はないと思う。屋島にホテルや水族館、売店は不要。歴史文化財と手つかずの自然をいつまでも後世に伝えましょう。
- ・ 桜の木を沢山植えて桜の名所にする。紅葉を沢山植えて紅葉の名所にする。
- ・ 屋島が、近年緑が少なく、市内から見ても緑がない屋島を見ているようでなんとなく美しさが欠けているようである。
- ・ 屋島自然をもっとアピール。遊歩道も説明書きがあれば参考になる。

##### <説明板・資料館等>

- ・ ジオパークに準じた説明のできる資料館がほしい。例：昭和新山
- ・ 今の歴史ブーム、これを基礎にして観光客を呼び込み、その上で自然の美しさを感じさせる。そのためには、資料館がなければ、歴史がわかりづらい。
- ・ 自然を残しつつ、屋島の歴史が学べるような施設ができたらよいと思う。遠足で登った小学生や観光客が楽しめるような。
- ・ 屋島山上にプラネタリウムの施設をつくってみては。
- ・ 屋島単独でなく、香川県の他の観光地を絡める必要がある。朝日町にある(現在存続しているかどうか承知していないが)平家物語歴史館を屋島に移転すれば相乗効果が期待できるのでは。
- ・ 歴史屏風の大型版を完成させる。
- ・ 源平合戦にかかわる施設が山上にほしい。それもできるだけ立体展示や映像(動画)がよい。
- ・ 市民参加行事(ウォーク)とか色々な勉強会を企画し、広く自然に参加意識を植え付ける。

## ○人が集まるイベントを

- ・ お店の閉店がたくさんあるので、利用できるように若い人向けの何か手作り教室を開いたらよいと思う。
- ・ 具体的に何かは今思い浮かばないが、市内に住む近くの人でも行きたくなる魅力ある場所、イベント等を望み、交通の面でも行きたくなるような工夫が必要かと思う。一方で、逆に何も施さず、あの珍しい自然を活かし、下から見て登ってみたいくなるような神秘的な場所にするのも一案。「来い、来い」というと、逆に興味を失い、「来るな」と言われた方が行きたくなくなるということもあるから。
- ・ 山上マラソン。
- ・ アー的なものがよいと思う。
- ・ 山は登るためにある、をモットーに、登山マラソンや、自転車早登り大会など、もっと屋島自体を利用しなければ意味がない。
- ・ もっと若い人向けのイベント等があればよいと思う。活性化には若い感性や情熱が必要不可欠だと思うから。
- ・ 屋島は高松市内からでもよく見え、独特な形をしていて、香川のシンボルになれると思うので、もっと魅力的なイベントをしてほしい。
- ・ 「初日の出を屋島山頂で見よう」を推進する。
- ・ 多様なニーズに対応する企画と交通の利便性確保を。

## ○その他

- ・ アクセスが良好とは言えない場所だが、地形、自然、歴史など「屋島」の持つ魅力はたくさんあると思う。ハコモノを考える前に、それらの魅力を引き出すアイデアが必要だと思う。
- ・ 香川の少ない観光地を長い目で計画に活かせないかと思う。
- ・ 高松市と市民が実行委員会をつくり、広く提言を求めて、参加型の計画を策定してはどうか。
- ・ 屋島だけでなく、その周囲にも観光スポットがあればよいと思う。
- ・ 子供の頃は、休日ごとによく行っていた。「四国村」「水族館」「山登り」・・・楽しかった。今は魅力を感じない。来県者(知人)を四国村の建築などに案内する時に行く以外に自ら行くことはない。
- ・ 大型ショッピングセンター等が郊外にできたり、イベントも充実してきているためか、つい身近な所に出て行くため、なかなか屋島方面まで出向く回数は遠のく。
- ・ 屋島は、屋根の形と、源平合戦が有名なので、一度は行くが、あとは水族館などが無いとあまり行きたいとは思わなくなる。
- ・ 屋島にお金をかけてどうするのか。無駄だ。時代の流れを理解するべきだ。何十年か前に、屋島に行くことと、現在は違う。大型マーケットへ行く。屋島に行くことはありえない。屋島にお金を使うなら教育にお金をかけるべきだ。
- ・ 活性化は無理だと思う。温泉地にするなど。
- ・ 建物の撤去に税金は使うな。
- ・ 観光客が少なくなったせいか活気もなくなり、香川県の観光地として魅力が薄れたのかも。
- ・ 7年間県外に住み、2年半前に帰ってきてまた高松で生活している。この2年半屋島へ行こうという気にならないのはなぜか？こんぴらには行った。八栗も五色台へも行った。塩江も行った。
- ・ 屋島に限らず、全て公共建築物を芸術的にセンスのよいものにしてもらいたい。九州などは JR の列車

を含めてとてもセンスがある。

### 3 来訪者実態調査結果

#### (1) 目的

「屋島活性化基本構想（仮称）」策定に当たっての基礎データのひとつとして活用するため、屋島への来訪者を対象に、実態調査（①来訪者数把握調査、②ヒアリング調査）を行った。

#### (2) 調査日程

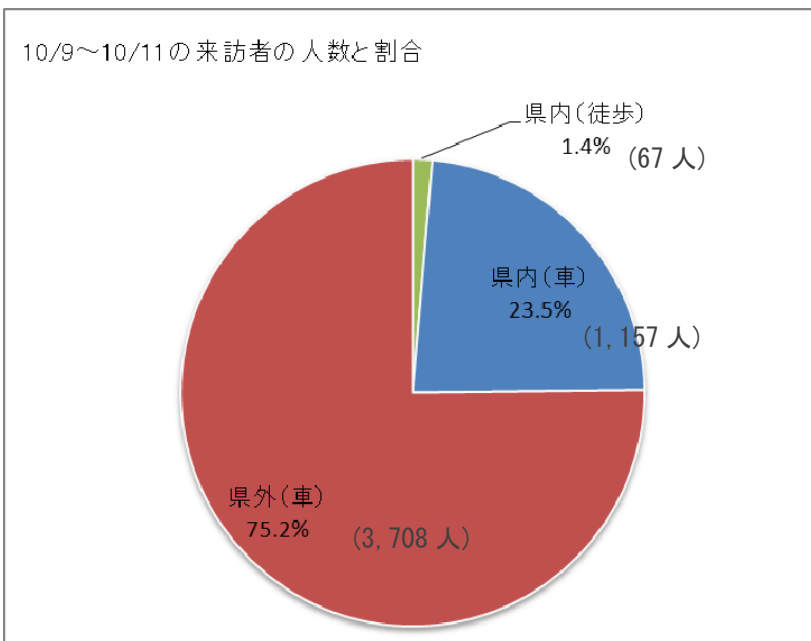
平成 23 年 10 月 9 日（日曜日）午後 1 時～午後 6 時  
 平成 23 年 10 月 10 日（月曜日・祝日）午前 8 時～午後 6 時  
 平成 23 年 10 月 11 日（火曜日・平日）午前 8 時～午後 6 時

#### (3) 調査結果

##### ① 来訪者数把握調査

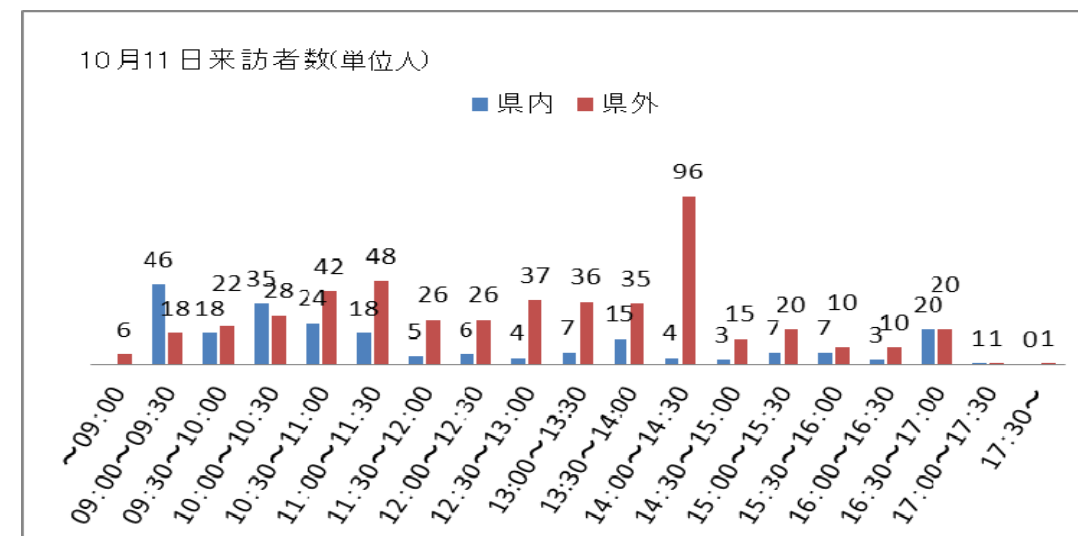
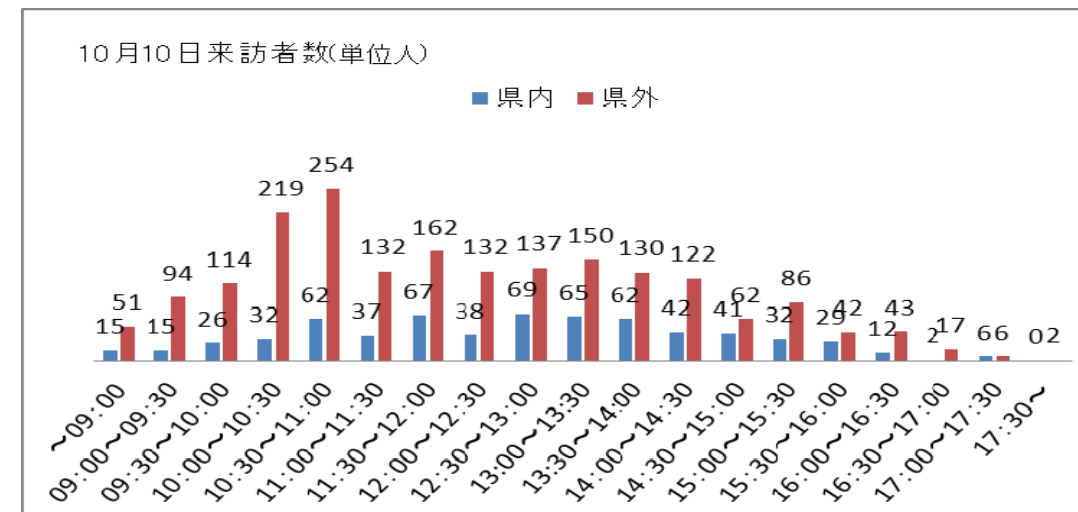
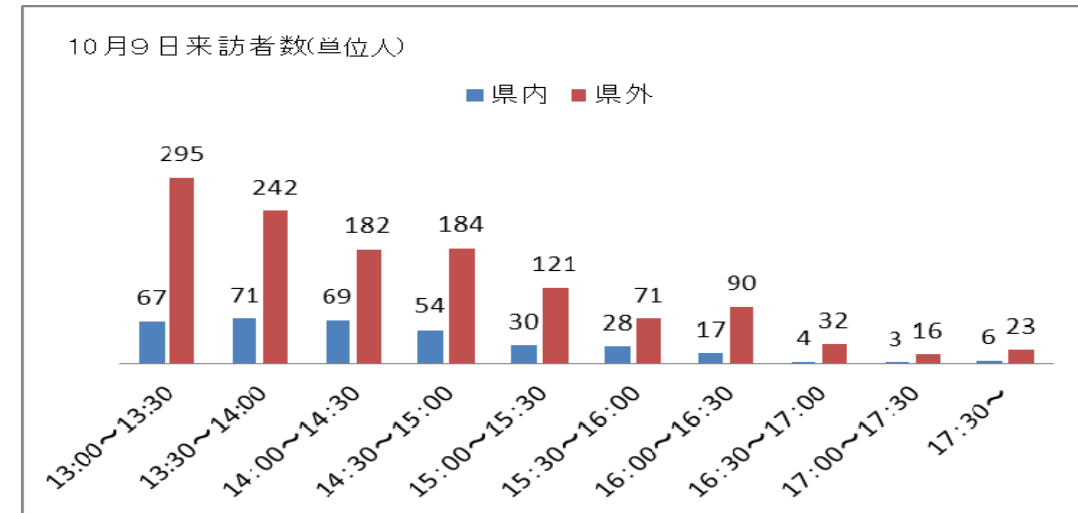
来訪者数把握調査は、山上地区の駐車場入口において車による来訪者数を、また麓からの登山道の山頂入口部において徒歩による来訪者数を把握した。

調査年月日	調査時間	来訪者数（うち徒歩）（人）		備考
		県内	県外	
平成 23 年 10 月 9 日（日）	午後 1 時～午後 6 時	1,605		
		349	1,256	
平成 23 年 10 月 10 日（祝日）	午前 8 時～午後 6 時	2,607（16）		
		652	1,955	
平成 23 年 10 月 11 日（火）	午前 8 時～午後 6 時	720（51）		午前 10 時頃約 400 人の地元小学生の団体での来訪があったが、年に 1 回の行事ということで数字には含んでいない。
		223	497	
	合計	4,932（67）		
		1,224	3,708	



- ・ 3日間を通じて県外からの来訪者は7割を超えた。
- ・ 徒歩による来訪者は、全員高松市内在住者であり、また県内の来訪者1,224人のうち、約7割の860人は高松市外在住者であった。

- ・ 祝日は午前中に来訪者数のピークがあり、以後概ね徐々に減少するが、平日は午前中と午後2時頃の2回来訪者数の多い時間帯がある。
- ・ 平日の午前9時台の県内の来訪者は大半が市内の人達で徒歩によるアクセスである。

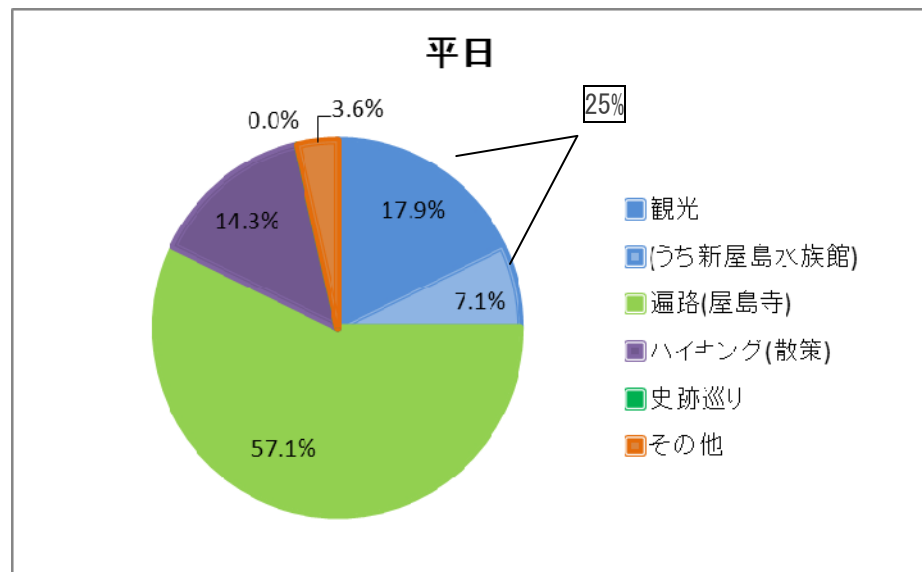
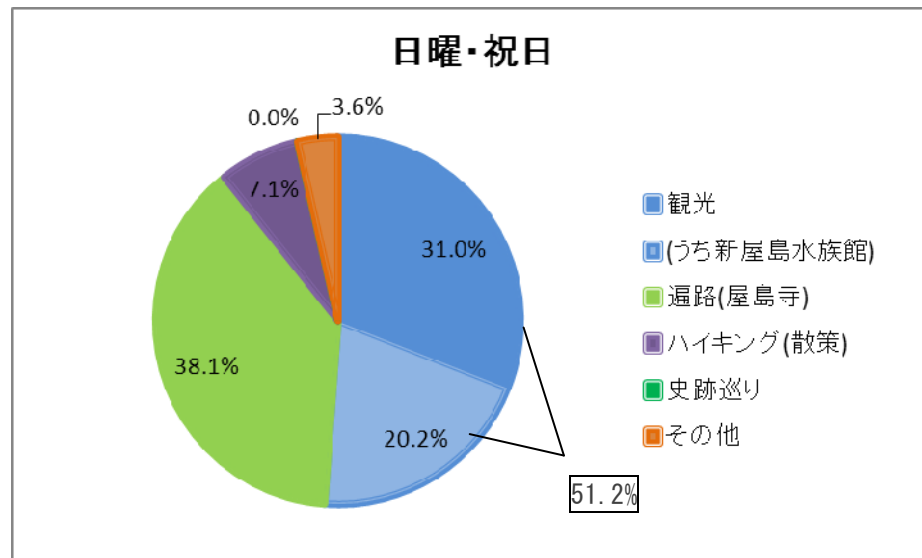


② ヒアリング調査

来訪者へのヒアリング調査は、山上地区において10月9日(日)、10日(祝日)、11日(平日)の3日間にわたり面接方式で計112人(9日26人、10日58人、11日28人)に行った。対象者は、年齢、性別、来訪グループ(家族連れ、カップル、1人等)に偏りがないよう選択した。ヒアリング対象者のうち21人が県内在住者であった。調査結果は以下のとおりである。

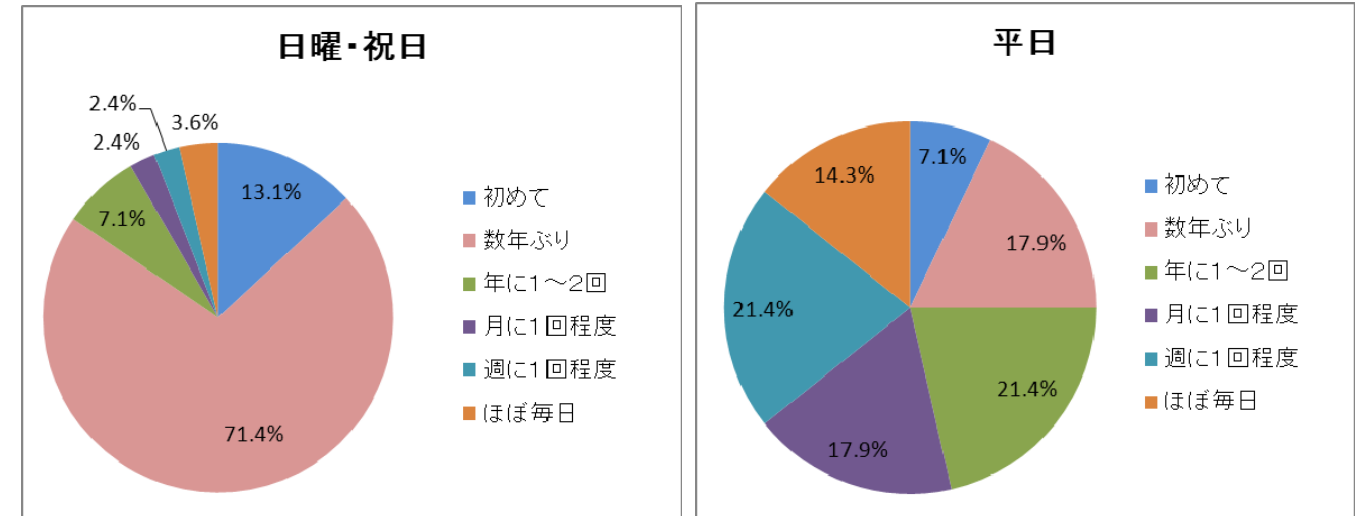
ア) 来訪の目的

- ・ 日曜・祝日の来訪の目的は観光が約半数を占め、次いで遍路(屋島寺、約38.1%)であった。
- ・ 日曜・祝日に観光目的で来訪した人のうち約4割が新屋島水族館を見に来た人で、その他は、景色(眺望)を見に来た、屋島寺参拝などであった。
- ・ 日曜・祝日のハイキング(散策)は約7.1%であったが、平日は約14.3%と多かった。
- ・ 一方、平日の来訪の目的は、遍路(屋島寺)が半数以上を占め、次いで観光(25%)であった。
- ・ その他の人の来訪の目的は、お客の案内、暇つぶし等であった。



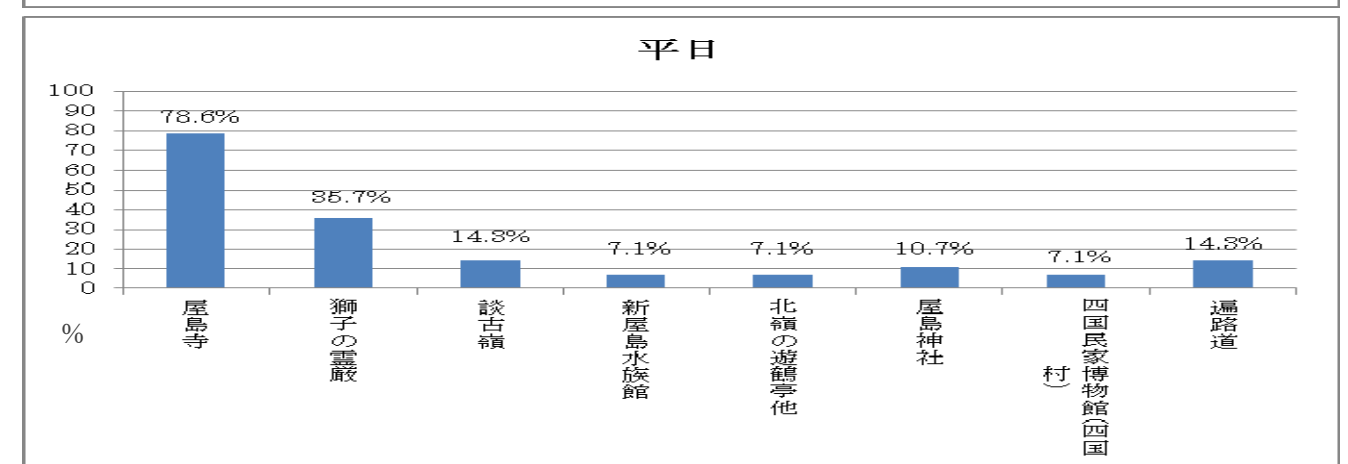
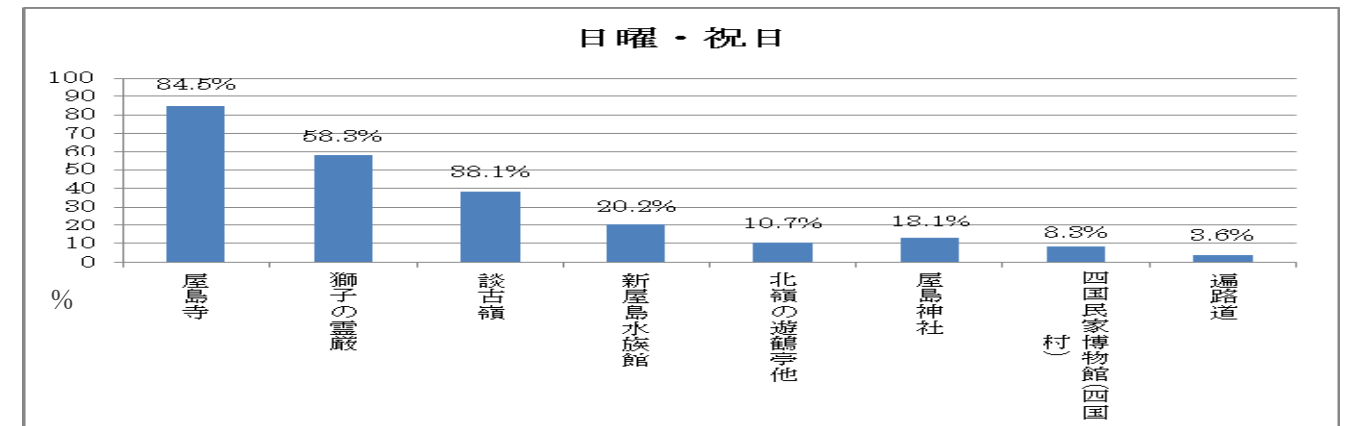
イ) 来訪歴

- ・ 日曜・祝日の来訪者のうち、約84.5%の人が初めてもしくは数年ぶりの来訪であった。
- ・ 一方、平日の来訪者のうち、初めて、もしくは数年ぶりの来訪の人は約25%と少なかった。
- ・ 日曜・祝日および平日で、ほぼ毎日と答えた人は地元の登山愛好家のグループの人達であった。



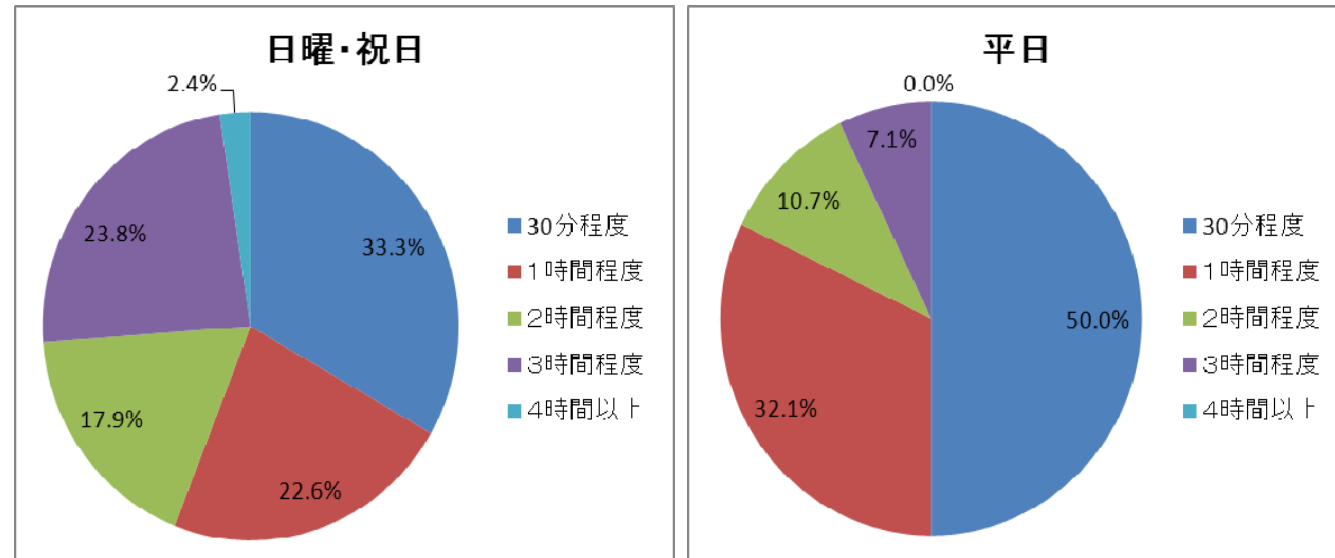
ウ) 来訪場所(施設)

- ・ 日曜・祝日及び平日を通じて、屋島寺へは来訪者の約8割が訪れている。
- ・ 獅子の霊巖や談古嶺で眺望を楽しむ来訪者は、日曜・祝日には多い。
- ・ 北嶺を訪れる人は日曜・祝日でも1割程度である。



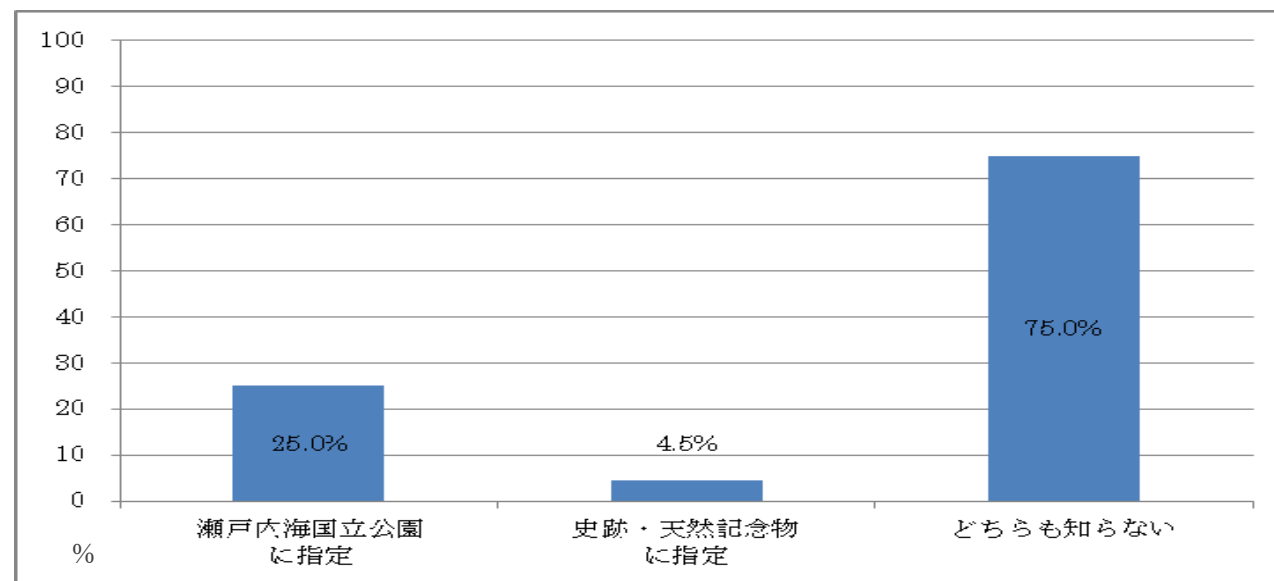
エ) 滞在時間

- ・ 来訪者の屋島での滞在時間は、平日より日曜・祝日が長い。
- ・ 3時間程度滞在する人の来訪目的は、大半が新屋島水族館の見学である。
- ・ 滞在時間が30分程度の人のお多くは遍路(屋島寺)目的である。



オ) 屋島の認知度

- ・ 瀬戸内海国立公園に指定されていることを知っている人は25% (4人に1人) と少ない。
- ・ 屋島が国の史跡・天然記念物に指定されていることを知っている人は、わずか4.5%であった。
- ・ 国の史跡・天然記念物に指定されていることを知っている人は、同時に瀬戸内海国立公園に指定されていることも知っていた。



カ) 屋島のよい点

	香川県内	香川県外
癒し	心落ち着く(1) のんびりできる(2) 空気が良い(2)、広い(1)	ゆったり・のんびりしている(3) 落ち着ける(1)、混んでいない(1) 素朴な所(1)、空気が違う(1)
身近	身近である(1) 近い(3)	
景観	景色・景観(11)、展望台(1)、展望・眺望(6)、山頂の景色(1)、夕焼け(2) 大橋が見える(1)、市内からも見える景色(1)	景色(32)、眺望(12)、遊歩道(3)、展望台(2) 海への眺め(3)、海・山の景色(1)
自然	四季折々楽しめる(1)、散歩・登山・ハイキングコースに最適(2) 自然(4)、景色と自然(1)、	ありのままの自然(7) 自然が多く癒される(1)
歴史	歴史(1)	古いものが見られる(1)、歴史(2) 源平合戦があった場所(2) 屋島寺(4)
複数の要素	合戦・海・遊歩道が一ヶ所に全てまとまっている所(1)	史跡と水族館が一緒になっていてどちらも回れる所(1)
その他	水族館(1)	全て満足(1)、水族館(3)、瓦投げ(3)、ドライブウェイ(1)、清潔感がある(1)、名勝(1) お店の人のサービス(1)、イイダコのおでん(1)、源平合戦の説明板(1)
	分からない(1)、未解答(8)、なし(1)	分からない(2)、未解答(15)なし(10)

キ) 屋島に対する要望

	高松市内	県外
今のままでよい	このままでよい(2)、 新しいものよりあまり変わっていない方が懐かしさがある(1)	このままでよい(2) 逆に何も足さない方がよい(1)
自然環境の保全	自然の美しさをそのままにしておきたい(1)、自然・昔の景色(3)	緑・自然が大切(1)
休憩場所	芝生等の公園(2)	ベンチ(1)
子供が遊べる場所	子どもが体験型で楽しめるもの(1) 遊具・アスレチック等子どもが遊べる所(3) キッズスペース・おむつ交換(2)	子どもの遊具のような簡単なもの(1)
土産・名物	土産物屋(1)、食べ物でも何でも名物のようなもの(1)	多くの土産物屋(2)、 子ども用の土産(1)
食事ができる場所	レストランなどお茶・食事のできる場所(4) お店(1)、コンビニ(1)、道の駅のようなもの(1)	飲食店(喫茶店、レストラン、カフェなど若い人向けのもの)(9) 自動販売機(1)、 華やかさに欠けるので出店等(1)
ケーブル等交通手段	ケーブル(2)	ケーブル(観光資源の一つとして、交通手段として)(4)、ロープウェイ(1) 上まで行く道路(1)、園内見学列車(1) 身体障害者用駐車スペース(1)
宿泊施設	ホテル・宿泊施設(2)	旅館(2)
歴史が分かるように		源平合戦に関する資料・史跡館や展示パネル(2)、歴史のガイド・資料等(2)
その他施設	人寄せのもの(1)、動物園(1)	動物園・サファリーパーク(2) 気球を飛ばす(1)、温泉(1)
その他	分からない(1)、未解答(5)、なし(16)	分からない(1)、未解答(27)、なし(32)